臺灣日日新報（夕刊）
五月二十二日
夕刊定價一部二錢
編輯兼發行人　佐々木　義
發行所　臺北市新町一丁目廿五番地　臺灣日日新報社
基隆出張所　基隆市仁愛路七番地　基隆支局
臺北市表町電話一〇七五番　臺北市中山町電話一〇七五番
臺南市末廣町電話貳〇七番　臺南支局
花蓮港出張所　花蓮港街入船町　花蓮港支局
（ユタカビルディング）　大阪支局
東京市日比谷公園前　東京支局

海南島十六縣の內十縣は我が宣撫區域

全島の治安着々回復

【海口二十一日發同盟】一二十一日午後四時半海南島派遣陸軍部隊子田中佐は海南島の現狀に關し大要左の如き談話を行つた

島軍は海南島上陸以來三ケ月、この百數十匪の殲滅下に痛撃を冒しつつ繰返し遂行せられる掃蕩戰と敵擾工作の結果、海南島敵殲滅司令王毅の指揮下に執拗なる抵抗を續けつつあつた敵部隊も四月末の討滅戰にその本拠を完全に殲滅せられ、王毅自身が身を以て逃れ、敗殘部隊は四分五裂するに至つた、海南島十六縣の內十縣までは我が宣撫區域內に在り、海口、瓊山をはじめとして治安維持會の結成せられるもの十指に餘り、那大、嘉積にも既に治安維持會準備委員會の結成を見全島の治安は着々回復の途を辿りつつある、この間に在つて敵殘兵並に共匪の尚治安確保の障害を行為に出るものがあるので軍においては分散配置の殲滅を期しつかりと腰を下して治安の回復を圖りつつある、それと同時に全島民の間にも日本軍に依るに非ざれば民生の救なしと自覚するもの多く、現在治安維持會約三分の二は民衆自衛軍を組織して島軍に協力共匪、敗殘軍に對する防衛に當つてゐる、それと共に親日新海南島誕生のためには治安維持會が結合して聯合委員會の如き政治組織を作り一貫せる政策を行はるべしとの意見が強く出て來つつある

小嶺の嶮を占領

抗戰力を有する敵軍の姿を見ず

江北剿滅戰は一段落

【南昌二十一日發同盟】敵の南昌奪還の企圖を察知した嶺井部隊は廿二日早朝六時南昌西南五十粁小嶺の嶮に拠つて反抗する第七十四師の本拠を急襲、殲滅みを襲はれて潰滅狼狽する敵約二千を山麓の鄧地に追撃めてこれを殲滅し同日午後全に同地を占領した

【海口二十一日發同盟】江北における敵第五戰區陸軍部隊たる湯恩伯、李品仙指揮の包圍殲滅戰は戰史稀有の成果を收めて漸く終結をつげた、今次の江北作戰は所謂攻勢の呼號を標榜して敵中であつた方山附近に殲滅、武漢北方地區への進撃陣地を構築、廣大の果敢なる敵戰と相俟つて遺憾なくその作戰目的を完成し、湯、李兩軍は素より他戰區よりの援軍、中央よりの增援部隊なりと合して二十大師團壊滅、二師團の敵大部は潰滅せしめられ今や漢水東岸地區に抗戰力を有する敵軍の姿を認めざるに至つたのである、わが國軍の下に如何に敵が乱れ狂ひ逃げ廻つた地の戰場に遺棄された夥しい死體によつても明かで二十一日午後共時現在第一線より報告し來つたもののみでも敵の遺棄死體は二万数千の多数に上つてゐるが、今回の作戰の特異性として わが軍の進撃を神速果敢を極め遺棄死體の如きは察へる暇なく突際の敵死傷数は更に莫大に達するものと推定される

潰亂部隊の再建は至難

【漢口二十一日發同盟】わが神速果敢なる猛火によつて敵的打撃を受つた第五戰區漢水東岸地區に對して將介石が今後如何なる對策に出づるかは極め注目されてゐるが、既に地方民を徴用、敵軍をして重隊の形態を整へるのみで今後三、四ケ月を要し、編制、訓練、補充の改良を行ふには尚ほ六、七ケ月を要するものと見られるしかしながら敵陣營の現狀からして今回の潰亂部隊の再建は到底至難の業と見られ、武漢地區への反攻的攻撃の作戰價値は全く無くするに等つた

敵陣營の混亂

【漢口二十一日發同盟】今回の江北の包圍殲滅戰において最も注目に値するのは作戰期間中將介石及び第五戰區司令官たる李宗仁が遂に一回も第一線陣部隊に對して直令を發することなくその責任を放棄し、敵軍一線部隊に對して直令を發することの出來ない事實である、これは敵第一線部隊の運用に當つて重要の作戰なりとの大本營の指示に拘束された時、李が何れも第一線部隊に對して遂に作戰期間中一回も直令を發せず、これが為敵陣營は上下左右の混亂狀態に陥り、敗北を喫したものである、この敵の統帥本部の指示は最も注目に値する

殲滅の目的達成

中支軍報道部長の談

【漢口二十一日發同盟】中支軍報道部長は二十一日午後次陣水以東地區における敵殲滅作戰經過に關し左の如き談話を發表した

今次遂の作戰目的は李宗仁、湯恩伯軍下の敵殲滅に一大打撃を加へ、これを完全なきまでに壊滅し、もつて敵の抗戰意識を消滅せしむるにあつた、一撃一撃の攻略占領の如きは問題としてはゐない、この作戰における わが軍の終始ゆるがぬ攻撃精神は内外の著しく衰退者に感ぜるところである、敵軍主力を誘引するため山岳地帯敵陣重視の陽動を旬日に亘り猛攻又猛攻、遂に敵陣を粉砕し極めて既整たる攻撃精神を發揮し

外蒙機を撃墜

日滿國境監視隊が

日再び蘇機を撃墜

【新京二十二日發同盟】去る十五日滿蒙國境のモンハンにおいて日滿國境警備隊の一機は蘇機を撃墜したが、これを地上より射撃しその一機を撃墜した

蘭印の國防強化

三億盾の豫算を提出

【シンガポール二十一日發同盟】蘭印オランダ政府は蘭印防衛強化のため八千噸級潜水艦六隻の建造を決定し西二隻は目下建造中で他の一隻は明年起工の豫定となつてゐるが、他の小艦種も急遽建造一隻

【ベルリン二十一日發同盟】ヒトラー総統は獨伊軍事協定調印のため、ベルリンに到着したチアノ外相を同日午後官邸に引見、リッベントロップ外相立會の

伊外相伯林入り

愈よ軍事協定に調印

【ベルリン二十一日發同盟】獨伊軍事協定調印のため、ベルリンに到着したチアノ伊外相は、パリアー二駅発午前十一時五十八分特別列車でローマよりベルリンのアンハルター停車場に到着した、駅頭にはリッベントロップ外相、陸軍総司令官フォン・ブラウヒッチ將軍、マウケンゼン駐伊ドイツ大使、アフトリコ駐獨イタリア大使、大島駐獨大使、吉沢駐伊公使等を始め迎へた、チアノ外相は先づリッベントロップ外相及びブラウヒッチ將軍と親しく握手を交はし、次に大島大使を始め吉沢駐伊公使、ハンガリーなど各國邦

長時間の密議

ヒ總統とチアノ外相

公使と固い握手を交はした後、獨伊兩国旗に護衛されたハーデマン街及びウィルヘルム街を経て宿舎アドロンホテルに入つた、少額の後十一時四十六分チアノ外相、パリアー二駅発長は無名戦士の墓に花輪を捧げ、次いで外相官邸にリッベントロップ外相を訪問正式挨拶を述べた、リッベントロップ外相は午後一時半ホテルアドロンにチアノ外相を訪問答礼の言葉を述べた後、午後二時からホテルに於て長時間に亘り何事かを密議した、會談後ドイツ政府はコムミュニケを発つて第に長時間に亘り會談の行はれた事実を發表したのみで何等内容には觸れなかつたが、

カイザーホーフで午餐會

イタリアからの国賓を歓迎

夜は獨逸官邸に歓迎大饗宴が開かれ総にヒトラー総統も出席して遠来の客を歓待する習である

米大使が外相を訪問

十九日未明極秘出訪

のカナダ太平洋汽船エンプレス・オブ・ジャパン號で鳴呼訪問したグルー米大使は國務の挨拶のため十八日午前十一時外務省に有田外相を訪問して懇別の會見を行つた（写真は外相訪問の米大使）

情熱の飛沫

（24）

高見順作
田代光畫

働く人々に……
ヒビオス錠が効果を讃へられるのは、それが榮養を高め體力を强化するにぜひ必要なビタミンB複合體の濃厚な天然給源だからです。
ビタミンB複合體は日常食物からも摂取できますが、筋力の活動に比例してその消費量が增大しますから激務に拘はる場合はB複合體もまた平時の數倍を要し食物からの供給だけでは不足するのです
ところがこれを放置するから胃腸の機能を弱め、榮養を低下させるのです。仕事に疲れ易く倦怠を覺へ延いては脚氣樣の症狀を起して健康をさへ害ふことゝなるのです。人一倍丈夫に働かんとする人人は體力を旺盛にし、病氣知らずに働けるやうヒビオス錠を食後々々に常用すべきではないでせうか
錠スオビヒ
ヒビオス・ナチヒ・チフボロ・ユニオン麦酒株式会社
大日本麦酒株式會社
東京市日本橋区本町二丁目　株式會社田邊元三郎商店
大阪市東区道修町三丁目　株式會社田邊五兵衛商店
馬越恭平博士調製
横谷良作博士監製
三〇〇錠一瓶六十錢
一〇〇〇錠一円八十錢
郵送料もあり

三萬五千の若人から 盡忠の赤誠誓ふ

けふ晴れの御親閲式

【東京二十二日發同盟】陸軍省後援將校学校配屬令制定十五周年を記念する職員学生生徒三万五千の御親閲式は初夏の爽かに風薫る二十二日午前十時更くも天皇陛下の親閲を仰ぎ奉り盛前廣場において

事變 下に入営義勇奉行された、この日御親閲を挙行する部隊は正服面に感激に身を固め配屬將校その他職員に引率された第一集團より第九集團の全員團が夫々午前九時式場に入り所定の位置に整列、一方陸列、隊員の諸員は午前八時より續々参入、秩父宮殿下元帥宮、閑院宮、朝香宮、各皇族殿下を始め奉り德内農相以下内閣諸大臣、柳川東部軍司令官、本庄關東軍司令官、各師團長、各部隊長、各學校長官の文武大官續々と到着、陛下の臨御を待ち申し上げた、この時宮中警衛の合同隊指揮官に報告され各隊、部隊の編成きり劍光、隊列に映じ壯觀早くも式場を壓する、やがて、天皇陛下には御乘馬姿にて大勢の將校を引率して入場、陛下には陸軍御軍服にて大勢の將校を引率して入場、陛下には陸軍御軍服にて大勢の將校を引率して入場、陛下には陸軍御軍服

こうすれば、すぐ

精氣づく 男の生活

根氣なくすぐ疲れ
夫婦愛は冷たく
不眠で記憶なく
早老不能の失望も
精溢れて愉快になる

四十の早老が治って妻も上機嫌

板崎　敏良

……ホルモンの注射も解って料金が高く効目ある迄續けられぬので中止し、新聞廣告でホルモン內服藥をのみましたが、明き瓶が增えても精力は增へず金を捨てた樣なもので一瓶でしたが、不幾キング・オブ・キングスに心をひかれ注文し服んで見ると驚いた事には體中は何んとも云へない力で滿ち根氣が出て來て頭もはつきりして來た。こんな事は安價で人生の快樂が手に入ると思キングの御廣告と感謝します。續けて呑みますから中瓶至急御送り下さい。料共五円十五錢為替で同封しました。

落第した私が優等になる

杉浦　久雄

十四の時勉強したことが止められず頭重く眼霧がして記憶が全くなくなり、學校も一度落第し親迄白く全く前途の望みを失ひフラ〳〵してゐたが、そんな事は親にも云へず悩んでしまいましたがふと廣告キング・オブ・キングスの記事を見て、眼の病氣と同じ人が全快してゐるので急に氣が強くなり早速送つて貰つて服用しまもなく、急に體に力が出て來て頭もはつきり冴、眼も見ぬ樣になつすり眠られ、二三度續めば眼出來る樣になつたのは眞くで驚きました。一学期の成績は百人中十五番の良成績で體重十六貫無疑です。來年は十番以內で卒業の目當です深く御禮申上げます。

精力生れ變って家運繁昌

三木　堂一郎

卅二歳で早老し全く眼の前が暗くなりました。根氣が無くなり自殺迄考へ、故障は發びて記憶も考へも悪くて商賣も失敗續きで夜は眠れず明方迄うと〳〵すると悪夢や苦しい悪夢ばかり

魯西亞船

(30) 土師清二作 坪内節太郎畫

罠 (七)

馬場の前の丸屋から、町方與力倉橋志摩蔵に言葉をかけた智田長助は、目顔で駒之助をしながら笑顔で「その辺まで御一緒に参りませうか。お差支へ無ければ……」

「左様か」と、志賀蔵は会釈して、「殺された三人は貴公の親友でございたなら。驚愕なことでしたな御侵じないが知れンが、お一人の死體檢屍をたのは拙者です」

「御面倒をかけて……恐」

「役目です、不幸役人の役目です。拙者は智役人ですからな、遺船所へ入れてもらへません。は……」

初対面なのに志賀蔵と長助は心と心とお互びに通ずるものがあつたのか、親ら友だちのやうになつた。

「田上、今日は拙者所旁に付き早引けをする。頼む。後を左」

「さうか」甲・鍛次郎は笑顔でこたられてゐる。

「遺船場へ参りませう」と長助は先に立つて遺船所の表門を出た。

志賀蔵は表門を出ると、右手の板塀のところに佇つてゐる男を目で呼んだ。岡ッ引の文吉だ。

「堀田さん。この男は拙者の手傷ひをしてくれる高越の文吉、岡ッ引です。西村、大塚御両人の死體を最初に見つけたのもこの男です」

「遺船所の旦那でございますね。倉地の旦那のお世話になつてをります文吉と申します。よろしくおねがひします」

「いや御丁寧な挨拶……拙者は遺船所の堀田です。船奉行鍛冶左兵殿に比べばかり嘲いてゐる。は……」

笑ひながら三人が立話をしてゐる——それを内側から板塀の隙穴から黒助が覗いて見てゐた。

(チニヤ何をぼや〳〵云つてゐるだ。西村だか、東村だか、大塚だらうと小笑らうと……わしが知るものか。俺奴ら同士殺りをしたのだ。ざまあ見ろ同士殺りをしたのだ。ざまあ見ろ)

(文吉、貴様は俺の頭に拳銃をけた奴だな。志賀蔵は奥方か。兵助は毎日者目にかかつてゐる馬面だ三人とも命を大切にした方がいい馬鹿な人たちだ)

心で笑つて知らぬ顔で黒助は、さつさと長屋へ引込んで行くのだつた。駒之助見ても何か用事がある。黒助は船奉行殿の御助手でしてな。船行方近辺も黒助を長貫にしてをる。郎を打たせると名人だといふ評判です」

「左様か」

志賀蔵は、文吉と目と目で「この俳優いつもの奴方だなやつだ」と笑ひ合つた。

船が船松町の岸に着いた。三人は河岸沿を下つて十軒町の長料理つくだ屋の吸腹をくぐつた。

奥の小間に通つて、誘へ物のを通した長助は、志賀蔵と文吉に向つて打ちとけた様子で話しかけた

「表……上面からおやりになるよりは、殺から手を廻はして船奉行が御存じない間に拘縛する。縛つて牢問にかけて自白させる。自白を證拠にして船奉行を叩ませると、手は無いものでございませうかな」

「相談するごとく、智役をつけるごとく長助はさう云ふのだ」

志賀蔵は笑つて笑つてゐた。

文吉がつと起こつて山に向いてゐる窓垂れを巻きやりにして、下の川岸を見た。誰か下に来てゐるやうだ。

上海陸戰隊

廿七、八日大世界館で

||製作||

||出演||

吉川一等水兵……園谷 寛
大久保一等水兵……江藤 勇
櫻井一等水兵……真木 順
田邊新筋の時……岡口 八郎
鹿堂少尉……鈴 一郎
新聞記者員……丸山 定夫
小學校校長……南條 欧司
岡田一等水兵……中村 英雄
支那少年兵……大村 千吉
民國の男他田……榊田 敬二
看護婦……佳田 光男
松本大隊長……鬼頭一郎
明……原 節子
紫……椿 澄枝
ダレンサ……曽我久米子
難民の女……英 百合子

||脚本||

||演出||

||撮影||

||配役||

岸中尉……大日方 傳
大石一等水兵……佐伯 秀男
山口一等水兵……月田 一郎
前田特務少尉……荷川 亜司
高畑兵曹長……小杉 勇男
見玉一等水兵……北澤 彪
中村一等水兵……佐山 亮
吉山一等水兵……三木 利夫
國岡一等水兵……光 一

昭和十二年七月、國際都市上海に端を發した日支の戰火は忽ちにして北支一帯を蔽ひ、不穏の気は上海にも日を追つて低迷するうちに、果然八月九日、大山中尉等の虐殺事件を生むに至つた。わが不拡大方針も支那側の不誠意を極めた態度に解決の曙光もみえず、悪度はいよいよ険悪を加へるうちに八月十二日を迎へた。その日、わが上海特別陸戰隊本部では、一人の殺人犯が逮捕された。警察官の調べが終り、今は上海市長に送られた殺人犯の前に臨検と申渡を謂はせ、今は亡き大山大尉の朋友岸中尉である。

「弔合戦を終へ、戦の捷に仇友の復仇を誓つた中尉は直ちに武装を怪へ待機する一個中隊を率ゐて出動守備区域たるA、B、Cの各陸地に陸隊を配備した。街路住民に陸民を疑れ、わが居留民は虹口小学校へ集つた。刻々と最悪の時は近づきつつあつたが、尚わが陸隊隊

皇軍慰問演藝團

公會堂で公演

新竹州派遣慰問演藝團皇軍慰問演藝團一行は、二十二日新竹での解散式を終へ二十三日台北第本社を訪問した。一行は二十三日から三日間公會堂で慰問の演藝を公演し二十六日の午後台北を離去する（写眞は本社を来訪した左部タカネ、わかの浦孤舟、江戸家猫八の一行）

カナ文字ニュース

▲鼓浪嶼ハ 厦門ノ オムカヒニアル シマデス。コノ シマニハ 蔣介石ノ イヒツケヲ ウケタ シナグンガ カクレテキテ、ヨイジンミンヲ イヂメタリ コロシタリシマス。ワガ カイグンノ リクセンダイハ コノ シマニ ジヤウリク、ワルモノヲ セイバツシテキマス。

▲イギリス・フランス・アメリカノ リクセンタイハ 鼓浪嶼ニ ジヤウリク、ワガグンノ ジヤマヲ ショウトシテキマス。ソガ 内田總領事ハ センバウニ ムカヒ、ハヤク タチノク ヤウニト、キツバリ マウシイレヲ シマシタ。

▲ヒガシアフリカノ ケニヤノ キナカデ アツタオハナシデス。アルヨ、ヤマノ ナカニ スンデキル オソロシイ ライオンガ ムラニ アラハレ、オヒヤクシヤウノ一カツテキル ウシヲ、カミコロサウトシマシタ。ウシノ ナキゴエヲ キイテ トビオキタ オヒヤクシヤウハ、ツエデ タタキコロサウトシマシタ。ライオンハ タイヘンオコツテ、トビツイテ ヌイテ ライオンニ クミツキ、タウトウ ライオンヲ サシコロシテ シマヒマシタ。ムラノ ヒトタチヲ ハジメ、クニデユウノ ヒトガ、コノオヒヤクシヤウノ ユウキノ アルノニカンシンシテ キルサウデス。

臺日漢詩壇

遊者 魏清德

一家團欒燈盛宴坐到更深尚未眠
一家團欒燈盛宴坐到更深尚未眠。
磨墨兒書稚日紙縫衣裝得女紅鏡。
安貧不必求恒産。積善惟期樹桃田。
追憶園頭冠珠。曾深河
開眼来加盃酒。文武才兼異華問。
爻名口碑長載道。將重德敬化寒窗。
親友人新造
携手双々入洞房。鼓行紅燭放連光。
燈前寄語同心結。室上欣陪合巹觴。
此夜熊古先叶吉。百年鴛鴦定相毘。

偶成 遠山鹽去來

耶家子載婆安促。慶米間心京敬之。
聖廟原來非得已。復興東亞旺星基。

春露

蕉雖遠海復頭。朝林樹色聞清。
柳花上舞眉月。照彼行時過小亭。

春中

行吟不覺春西東。次脚浪蕩春日中。
自嘲征人無未変。櫻花開時賞華社。

長日

長日春雨。家居閑話。雨住生意盛。
晴。青蛙鳴聚。
雨川堤上春雷。
雨歇長堤上蛙鳴。櫻化木旺島鳴。
雨歇長堤上蛙鳴。櫻化木旺島鳴。
長人垂釣春夜七。雨川堤上春雷。
長人垂釣春夜七。雨川堤上春雷。

商況（廿二日）

臺灣正米市場

▲前場 引丸屋

期逢蓁	南部蓁	三蓁
不申		一車

▲期丸屋 當

期逢蓁	南部蓁	三蓁
不申		一車

中場

▲期逢蓁 南部蓁 三蓁 一車 不申

▲期丸屋 當

期逢蓁	南部蓁	三蓁
不申		一車

臺灣正市公定相場

▲期逢蓁 南部蓁 三蓁 一車

▲期丸屋 當

期逢蓁	南部蓁	三蓁
不申		一車

基隆在庫米

二十二日朝現在

期逢蓁米	南部蓁米	一九〇〇袋
期逢蓁白米		一七七五袋
期丸屋白米		一二〇〇袋
合計		一三一九一五八袋

高雄在庫米

二十二日朝現在

期逢蓁米	南部蓁米	一四五六
期丸屋米		一三四〇
合計		二七九六

臺米現物相場

基隆賣買米 乘籠賣買米

期逢蓁米	南部蓁米	一四五六
期丸屋米		一三四〇

大阪期米前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京期米前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京長期總取組

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

大阪短期前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京長期前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京短取組

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京短期前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京銘柄清算前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京銀行株

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京國債前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

大阪期米前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

大阪長期前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

大阪短期前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

大阪砂糖清算前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

大阪砂糖現物

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

神戸豆粕前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

大阪棉花前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

横濱生絲前場

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

神戸豆粕

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

正金建値

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

東京市中コール

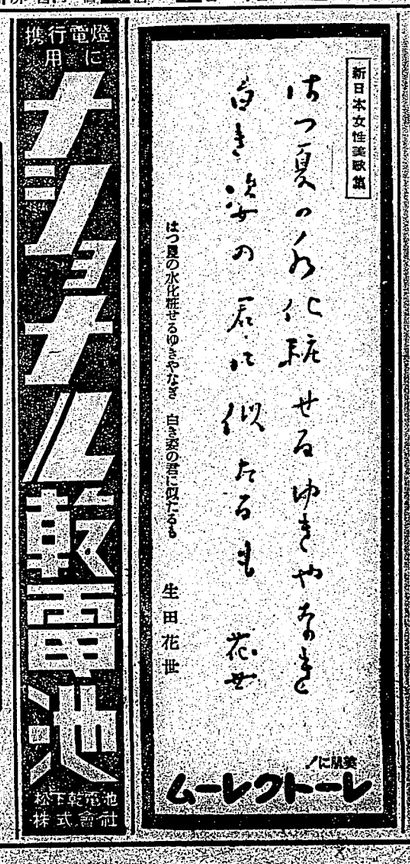
期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

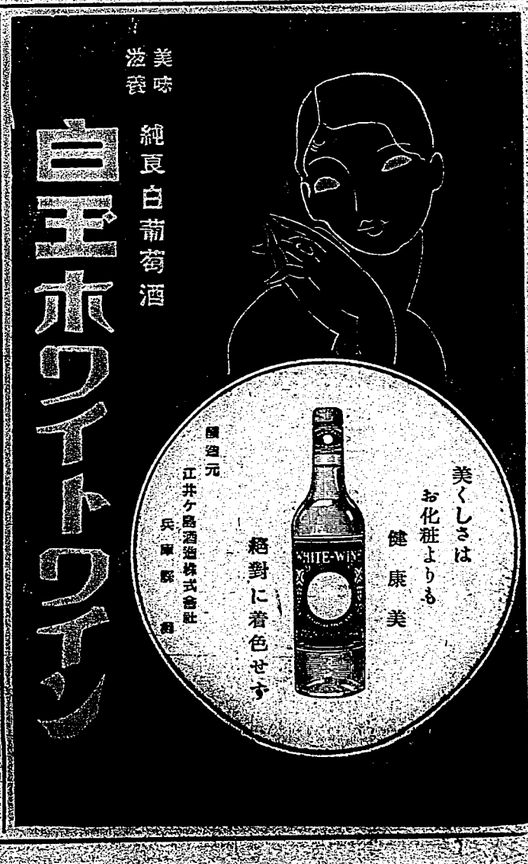
日銀餘尻

期逢蓁米	南部蓁米	一三六〇〇
期丸屋米		一三六〇〇
出米賣合計		二七二〇〇

臺日案内

書籍	支那大地圖	臺北市榮町一丁目
醫院	内地土産	桐田の屏東木瓜
寫眞	乾板	臺北市榮町
時計眼鏡	和田はメガネ専門	臺北市榮町
藥種商	金融	電話
喘息にワンカ	吸入酸素	高級洋服地は大菊へ
婦人服地	洋服	淋病に黒焼
製靴商	靴	洋樂レコード賣
食料品	烏賊の黒造	雜件
夏物卓子掛	村井	朝顔種子新荷着
冷藏庫製作は八木	仔犬	婦人洋裝品
平戸のかまぼこ	平戸の摺味噌	種鶏分譲
特許藥	岸喜鑑	商標





（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十四年五月二十三日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万四千七十四號　（一）

臺灣日日新報

日本夕刊共二十頁
編輯人　佐々木　茂
臺北市榮町一丁目三番地
社長兼發行人　新田清一
電話代表五〇五一番
振替口座臺灣一〇番
廣告料　特別一行十五字　同　貳　壹圓五拾錢
記事割込一行　貳圓
定價　本紙一部　壹錢
月額　壹圓五拾錢
定價　一ヶ月前金壹圓五拾錢・六ヶ月金八圓五拾錢・壹ヶ年金拾七圓（日本國內送料不要）

社説　獨伊軍事同盟の調印

歐洲新秩序へ　歴史的大記録

一

歐洲の新秩序を卿く強力に推進せむとする獨伊の政治軍事協定は愈〻二十三日、伯林に於て式に調印の運びとなつた。獨伊軍事同盟の成立は帝國として日まさる獨伊傾軸の歐洲的強化であり歐洲の新たなる再編成へ實に世界的な大記録であつて特に帝國と防共協定を締結し緊密な隣邦關係にある我國としては獨伊の祝福の意を表せざるを得ないのである。之を以て赤化の魔手に對する防壁も愈〻強化され、英佛其の他の對獨伊包圍陣に對しても鐵壁の堅陣が築かれたのであり、極度に緊迫する歐洲政局に於て最も強靭な新體制は今や完璧な威容を整備するに至つた。

二

獨伊の傾軸は既に基礎に於て世界平和を撹乱する人類文化の公敵たるソ聯の赤化の魔手に對して之を防遏する重大な役割を演じて來たのであるが又二面に於ては持てる國として極限の限りを盡して來た英佛中心の不合理極まるベルサイユ體制を過去數年の間に於て徹底的に改修し歐洲の新秩序建設へ一路邁進して來た。實に獨伊兩國は興隆する國家として勇躍發現發展的な驀進を伸ばして來たのであるが今回の軍事同盟の締結は獨伊兩傾軸の歐洲政局に於ける指導的努力を更に一層強化せんとするものである。即ち協定の内容としては如何なる制約からにせよ、その一國が攻撃を受けたる場合は軍事力其他あらゆる力を擲げて援助協力するといふにあり、翻くして獨伊民族一億五千万の強力無比なるプロックの威容が期待される。而して同協定は百年兩國を待つる英佛の多邊的外交、ソ聯の悪辣なる赤色外交と對比して頗る單純であるが利害打算を超越して一貫した主義に立脚するものなるが故に帝國の結合は飽く迄自然であり從つて強固無比なるべき事が約束されてゐるのである。

三

獨伊傾軸の軍事同盟への發展は英佛等の包圍陣に依つて促進されたのであるがそれは戦爭が既に開始されてゐると雖せられる程、險惡化の一途を行く歐洲政局に大轟機を與へるものである。即ち本協定は英佛其の他の民主主義國家が攻勢に出づれば全體主義國家が一體となつて飽くまでこれを制壓せずんば已まざるの覚悟を暗示として宣言するものである。而して英佛の實力に於ても獨伊陣營は英佛を壓倒する。英獨の再軍備が著しく立遅れの狀態にあり、獨伊に對抗すべくもない事は包圍陣にソ聯を引入れん樣に扱々たる態度を以ても知られるが英佛ソ相互援助協定が今や全く行詰みの態にあり、又國家財米破立し得たとしても同盟國家、擧り自國本位の利害打算に終始する以上、獨伊の同盟に對抗し得べき實效の期待し得べきものありや全然疑問とせられるのであつて今後獨伊の歐洲新秩序建設の推進力は一層強化されべき事が期待される。更に又獨伊同盟の強固の強力性は歐洲を再戦の危局より救ふ效果が期待され斯くして獨伊同盟は戦はずして歐洲新秩序建設の推進力は一層強化されべき事が期待される。更に又獨伊同盟の強固の強力性は歐洲を再戦の危局より救ふ效果が期待され斯くして獨伊同盟は戦はずして歐洲新秩序建設の推進力は一層強化されべき事が期待される。更に又獨伊兩國こそ好戦ではなくて反對に戦爭防止に最も貢献效ある體制を確立せんとし、又現に確立しつつあるものであり、平和主義の假面を被りつつ軍備に於ては戦爭誘發の禍根を擴成する英佛の行動と對比して、發者が故意的紛糾に出ずすると反對に、絶對なる べきである。斯くして獨伊は軍事同盟の締結に依り歐洲の新秩序の確設を飽く迄強力に、不退轉の決意を以て推進すべく從に歐洲の平和のみならず世界の平和に絶大の貢献が期待されるのである。

天皇陛下には臺灣統治につき御下問

小林總督より委曲奏上

【東京二十二日發同盟】小林台灣總督は二十二日午後一時宮中に參内、天皇陛下に謁見仰せられ台灣總督府の近況に就き委曲奏上、親々御下問に奏答して退下した

於いて天皇陛下に拝謁仰せつけられ島内一般狀況、就後の施政方針等に就き約二十分間に亘り奏上申上げ、次いで席を隣はりたる後、恐多くも親々御下問を賜はり一々御奏答申上げたが陛下には親切に聞し島民が協力して時局に邁進せんことを御聖旨の敬感を感じ奉り、謹々御下問に奏答して退下した

深き御關心に誠に恐懼に堪へない

總督謹話

【東京二十二日發本社支局特電】小林總督は廿二日午後一時宮中に參内鳳凰間に陛下には親切に御下問せつけられ、就後の施政方針等に就き約二十分間に亘り奏上申上げ、次いで席を隣はりたる後、恐多くも親々御下問を賜はり一々御奏答申上げたが陛下には親切に聞し島民が協力して時局に邁進せんことを御聖旨の敬感を感じ奉り、謹々御下問に奏答して退下した

獨伊の軍事協定

きのふ正式に調印

【ベルリン二十二日發同盟】獨伊軍事協定は二十二日午前十一時新總統官邸に於てヒトラー總統立會ひの下にリッベントロップ、チアノ獨、伊兩外相の手に依り正式に調印された

と云ふことが出來る間之同盟軸の驍勇性を示すものであるが如き意義の宣傳等は之に依り今後全地を揚ぶことになるであらう以上は歐洲の將來に重要なる關係を有するものであつて本條約は歐洲現下の危機に際し必らずや世界の平和と進歩とに貢献するところ極めて大なるものあり

と言ふる今や帝國外交の基礎は共産主義撲滅を目的とする防共協定に基かれてをり右協定の精神に基いて獨伊と緊密なる提携を終了したることは動かすべからざる國策である從つて防共の盟邦たる獨伊兩國との條約の締結によりその關係を全面的に完整し强固なる強形を作るに至つたことは帝國として欣幸に堪へざる所である。この意味に於て吾人は本同盟成立に對し敬意を表するものである

【東京二十二日發同盟】獨伊の軍事同盟調印に外務省當局は南南国の堅き握手を歓迎し左の如き情報部長談を發表した

本日ドイツとイタリーとの間に友好及び同盟條約が締結されたが本條約は元々南國の國際關係並に兩國の歐洲に於ける勢力地位に由來するものであり、抑現在伊傾軸はこれを從來の如く不文の間に置かうと又別に正文化しようとその

強固さ

において何等異なるところ無いであらうが本條約の成立に依り傾軸政策の運用上大なる進歩を見ると言つた

本同盟成立に對し祝意を表する

外務省情報部長談

【ロンドン二十二日發同盟】二十二日の獨伊軍事同盟調印が行はれるや先、一方英国政府は英ソ軍事同盟締結を原則的に受諾したと言はれ、歐洲の風雲は益々急を告げ

英外相、獨大使に對獨妥協案を提出

【ロンドン二十二日發同盟】獨伊の軍事同盟調印に対し英國政府は英ソ軍事同盟の成立を提出した旨を公表した

一、英國政府は英ソ協定の成立を歓迎し、英國政府は英ソ協定の成立を提出したことは英國政府の誠意を示すものである

二、英國政府は英ソ協定の成立を提出したことは英國政府の誠意を示すものであるが、政府側筋の消息通は二十二日英國側の提案は次の如くである

一、英國政府は英ソ協定の成立を歓迎し、英國政府は英ソ協定の成立を提出したことは英國政府の誠意を示すものである

二、英國政府は英ソ協定の成立を提出したことは英國政府の誠意を示すものであるが、これは結局ヒトラーの目的であるドイツ包囲陣を目的とするものではない

三、英國は軍事力を用ひない限り總ゆる問題につき英國に協力する用意がある

四、英國ポーランド間の協定は英國の義務を負ふものであるが、ポーランド政府は英ソ軍事同盟締結を原則的に受諾したと言はれ、歐洲の風雲は益々急を告げ

常英國政府は英ソ協定の成立を歓迎するものであるが、政府側筋の消息通は二十二日英國側の提案を次の如くである

一、英國政府は英ソ協定の成立を歓迎し、英國政府は英ソ協定の成立を提出したことは英國政府の誠意を示すものであるが、これは結局ヒトラーの目的であるドイツ包囲陣を目的とするものではない

二、英國政府は英ソ協定の成立を提出したことは英國政府の誠意を示すものである

三、英國は軍事力を用ひない限り總ゆる問題につき英國に協力する用意がある

四、英國ポーランド間の協定は英國の義務を負ふものであるが、ポーランド政府は英ソ軍事同盟締結を原則的に受諾したと言はれ、歐洲の風雲は益々急を告げ

海の荒鷲と水上艦艇

南支各所で活躍

遂溪では一機が壮烈な自爆

【上海二十二日發同盟】艦隊報道部發表＝南支方面において海軍航空隊及び水上艦艇の有力部隊は左記諸所を攻撃いずれも多大の戦果を收めたり

一、十九日廣東省西南部陸海軍を襲せる航空部隊は同市内外の軍事施設及び機銃陣地を爆撃せり

わが攻撃部隊の一機は途に敵彈を受け敵陣中に突入自爆せり

二、同日一部艦艇は警部隊と協力し西東省の要港海南島を襲撃し軍事施設を始め製材所及び小型軍用船舶を焼滅せり

三、倉岡日福州に向ける艦隊は主要軍事施設及び機銃陣地を爆破せり

四、二十日航空隊の一部は延べ機數約三十機をもつて福州附近の重要機場を反復爆撃し甚大なる損害を與へたり

獨波關係が緊張

ドイツ人射殺事件を繞つて相互に抗議を提出

【ワルシヤワ二十二日發同盟】カルトナにおけるドイツ人射殺事件を繞つて二十一日のワルシヤワ市民は極度の興奮に達してゐるが、右事件に關しては十一日政府相互に抗議を提出し互に責任を糾弾した

【ダンチツヒ二十二日發同盟】二十日夜ダンチツヒ、ポーランド國境カルトナに發生したドイツ人射殺事件は、ポーランド官憲の不法行為としてダンチツヒ民一般の憤激を買つてゐるが、ダンチツヒ政府新聞官は二十一日右射殺事件は全くポーランド側の責任なる旨を强調、ポーランド側の即時調査と損害の賠償を要求する旨左の如き公式發表を行つた

ダンチツヒ市民グリューブナーは二十日夜國境カルトナを自動車で通過の際何等の理由もなくポーランド人警官等がグラウスキーより射撃を受け即死するに至つた、右射殺事件に關しダンチツヒ參議院議長グライザーは二十一日直ちにダンチツヒ駐劄ポーランド代表チヨダツキに嚴重なる抗議を提出、右事件の詳細なる調査と損害の賠償を要求した。グリューブナーは日夜タクシーでポーランド國境を通過ちんとした際二發の自動車に射撃を受け二發の弾丸は頭部及び胴に共々命中即死したものである、右は明らかにポーランド警官がダンチツヒ市民に対いたポーランド公使館警官ペルコビスキーの所有のものである、更に數日前にはポーランド通關において一ドイツ人貴船がポーランド人と紛争の結果多數の民衆から殴打されて負傷されたが、その他にもポーランド國内居住

ダンチツヒ問題のため戦ふべき名分の無到なる論であるが、英國政府は英國國民に愛方と考慮可能な友好的協定が成立するのは喜ぶ希望するものである

一、英國は建設計畫の遂行を含む海軍協定遵守の為ドイツと

二、英國政府は英國海軍協定の遵守を要求する用意がある、而して英國政府は英國海軍協定の遵守を要求する用意がある

六月六日ヂニツツルドルフの会談

ドイツ条約遵守と英國通商協定

英國は英國海軍協定の遵守を要求する用意がある

責任は波蘭にダンチツヒ政府發表

【ロンドン二十二日發同盟】二十一日のデイリー・ニキスプレスは英、佛、ソ三國代表間に三國相互

のドイツ人が前後を受け衆憤を破壊されたが例は多々ありポーラ

ソヒ兩當局の抗議の總過と民心の激化によつてダンチツヒ問題を繞るドイツ、ポーランド關係は実に数年來稀に見る緊張を示すに至り、その成行きは注目されてゐる

三國相互援助條約

實質的に諒解成立か

【ロンドン二十二日發同盟】二十一日の英、佛、ソ三國代表間に三國相互援助條約に關し實質的に諒解成立した旨を公表の如く迎へてゐる

外國陸戰隊揚陸の非友誼的を指摘

我方は絶對に自主的に行動

【東京二十二日發同盟】陸海兩省に於ける陸戰隊揚陸問題の処置に關して愈〻二日中に我が○○艦隊最高指揮官並に英米佛各陸戰隊指揮官との間に會談が開かれることとなつたが、右問題に對する我方の態度は既に屢々言明せる如く自主的見解に基き犯人の捜査及び各種所目分子の取締りを目的としたものであり、既に

米管の主眼は米の増收にあり

東部の河川、水利、砂金等々

花蓮港にて 田端殖産局長語る

地務出張は農務部に於て全部買入れを行ひその價格は時價より一石に付金二円位の引下げを行ふことにしてゐる買入價格を下げると一般農家經濟に影響を及ぼすではないかとの懸念もあるが決して穀物の心配はないと斷言する、米管令實施の主眼は米作の減收ではなくむしろ增收に在り殖産局は十五年度に於て蓬萊米五千万石の增産計畫を立てこれが實現を期してゐる又一方には米管令實施の結果產米減收策と低廉するにあらずやとの疑問を抱く向もあるやうだが護國の製糖業に對しては別に近く糖業令を公布し蔗作面積並に產糖の統制を圖ることになつてゐるから蔗作面積は凡て認可制度となり無制限に蔗園の擴張は出來ない事となる譯である即ち一方には米管令に依つて米價の適正を期し他方蔗糖の統制を行ひ兩々相俟つて增收を圖り更に他の重要產業の發展に同川水利その他の緊急施設を實施するの如き他州廳に於ける移出米の買入高に依つてその餘剩金に依る即記の施設如何に力あるかといふ問題だがこれは總督府としては買入高の多少に依つて施設の厚薄を定めるやうな消極的な方針は採らないつもりである、蔗糖金融から見て緊急施設を要するものはドシノ實施して行きたい從つて各州廳に對する施設費の割當などと云ふやうなことは全然やらない方針である、東部の如きは河川水利その他の施設に於て緊急を要するものが多々あるがこれは主として東部開發計畫で實施する樣になると思ふ、次に東部の重要產業たとへば勿論各種產業の更新天然資源の開發當面に於ては新天然資源の開發に依ればなるほど一方に偏重する及ぼすに至るべきを惜しむ

田端殖產局長は近く實施さるべき米管令の趣旨實行の使命を帶びて去る十九日來花したが米管令の實施に就いて大要次の如く語つた

米管令實施の趣旨は從來不自然に高い蔗糖の米價を適正ならしめると共に國際產業の發展に應ずる總合的安定を圖り蔗糖獨自の產業的眞天使命の發揮を期するのが主眼である、即ち內地米價は蔗糖價に比べ高く蔗糖の產業的發展を阻害する傾向があるので

時事解説

列強の陸軍總帥

いざ開戰ともなれば 三軍叱咤の名將

少將から一足飛びの英國元帥 曹長出身のソ聯元帥など

獨逸——陸軍總司令官　ブラウヒイッチ大將
伊太利——總參謀總長　バリアーニ中將
英國——參謀總長　ジョン・ゴート大將
佛國——國防參謀總長　ガムラン中將
米國——參謀總長　マリン・クレーグ大將
ソ聯——ブヂョンヌイ元帥

ソ聯の言葉だと「世界大戰はもう始まつてゐる」のである。そして、近代戰は「戰布告なしに開戰の火蓋を切る」とは多くの軍事批評家の定言だ——

新時代色は兎に角、國際カーキ色の一布で覆はれ「戰時」の新しい雰圍氣に吹聴されたならぬものがある。今開戰を想定してここに列强軍事當局者の横顔に觸れるのも興味ある点——順序として先づ獨逸陸軍總司令官ブラウヒイッチ大將から……

×

獨逸　陸軍總司令官ブラウヒイッチ大將

獨逸（陸海空軍）を掌握する者はヒトラー總統だが、いざ開戰ともなれば當然三軍を動かす者は陸軍總司令たるワルテル・フォン・ブラウヒイッチ大將といふ事になる。今を時めく閣大將は一八八一年伯林生れで當年五十九歲、近衛少尉を振り出しに歩兵第三聯隊から參謀本部勤務となり、世界大戰には戰線の華々しく活躍した。大戰後は國防省參謀長をやり、九三二年少將になつて砲兵學校の教官に就き第二師團長、第一軍管區司令官を經て陸軍大臣と同時に陸軍總司令官となつた。一九三七年新設第四軍團長、翌年現職に就いた。新興チチス國防軍首脳の人氣を一身に集めてゐる。陸軍相ヒトラーの代行者ワイル・ヘルム・カイテル大將も亦、世界大戰の戰功者で陸軍總司令官より一ツ年下であるが、優秀な頭脳の持主で軍部の覇者である。

伊太利　軍も赤ムッソリニ首相の統率する処だが、軍事上陸海空軍を掌握するものは總參謀長（陸海空軍には各參謀長が置て次官がこれを兼ねてゐる）である。バリアーニ中將である。バリアーニ中將は陸軍次官兼任だが參謀總長兼空軍次官のバレー將軍と共に二天佐石をなしてゐる。一八七六年生れで當年六十四歲、世界大戰に出征した事もあり、伊太利參謀委員やアルバニア駐在武官などをやつた。デ・ボーノ、グラチヤーニ、パルボ、パドリオ各將軍ともバリアーニ將軍には絶對の信頼を置いてゐる。ムッソリニ首相も彼の政治的、軍事的手腕には一切を委せ得るとして最近は專ら軍備擴張と充實に努めてゐる。

×

英國　には兵馬の実權者參謀總長子爵ジョン・ゴート大將がゐる。最近一足飛びに少將から大將元帥となつた異數の榮轉をみた人で一八八六年生れ世界大戰には參謀中將として出征二度も負傷した。その功により彼の頭には「ビクトリア十字勲」が輝くと謂はれてゐる。陸軍教育、教育總監部次長などを歷任し一九二五年少將となり、陸軍機械化次官を經て一九二七年デプレル元帥の後を繼ぎ、參謀總長となつた彼を輔佐する第一次官兼參謀總長エドワード・エリントン少將、參謀次長ロナルド・ブダムス大佐などがゐる。

×

佛國　の至寶は何といつても國防參謀總長ガムラン中將であろう。先年なくなつた有名なジョッフル元帥の信任が厚く世界大戰中は常にジョッフル元帥の親傍として動功を樹てた、師團長、第一〇軍團長、參本第一次長の歷を經て、一九三一年現職に就き滿洲事變フランス國防軍を指揮する唯一の將軍である。

×

米國　にはタッター一人のマリン・クレーグ大將がゐる。この國は一歩一歩十何人かの少將から參謀總長に拔擢されると一躍大將となり、參謀總長の椅子から離れると直ちに少將に成り下がつてしまふ。

マリン・クレーグ大將は一九三六年參謀總長（陸軍最高官）になつた人で、今年六五歲の老將軍だ。陸士、參謀學校、陸大を出てサンチヤゴ役、スイリッピン遠征、世界大戰等に參加、米國最上級の將官となつた。大戰後は各學校長を經、一九二四年參謀總長になるまはパナマ運河地帶軍管區司令官をやつてゐた。世界的軍略家として夙に定評がある。

×

ソ聯　の三軍を率ゐる者は誰か——ワオシロフ國防人民委員は今では既にクレムリス宮殿に納つて、寧ろ實權は同委員代理ブヂョンヌイ元帥やエゴロフ元帥にあるといふ。赤軍二百万のリーダーはやはり兵卒と一緒にビールを飲んだり騎兵隊でありながら陸天の学生になつて驚福したといふブヂョンヌイ元帥であらう。兵卒から曹長となり革命には騎兵隊を集めて大いに奮戰した今年四十八歲の若さだ。エゴロフ元帥は先年新興露西亞の露と消えたトハチエフスキー元帥と双璧の大軍略家で彼の冷靜な頭は赤軍大戰に多角的潤化を生んでゐる。確かに今年五十二歲だつたと思ふ。

歐洲戰に對する米國輿論の動向

「ニューヨーク發同盟電」米國民意圖の最大の關心は、若し近き將來歐洲戰爭が勃發した場合、米國は如何なる態度に出つべきかといふことであるが、これに關し米國民の輿論調査にかけては權威ある米國輿論研究所所長ジョージ・ガラップ博士は最近一般米國民に對し左の如き質問を掲出し、その要旨輿論の動向を調査した。即ち若し歐洲に戰爭が勃發した場合

一、米國は英佛側に食料品を供給すべきか
　賛成　八十二パーセント
　反對　十八パーセント

一、米國は英佛側に派遣すべきか
　賛成　六十六パーセント
　反對　三十四パーセント

一、米國は英佛側援助のため陸海軍を歐洲に派遣すべきか
　賛成　十六パーセント
　反對　八十四パーセント

右結果を見るに米國民は英米側援助には異論はないが、わざく軍隊を歐洲に派遣するのは歐州大戰の例もあるので餘り乗り気ではない模様が顯出來る。際、米國民の對英佛援助希望は漸次高潮して來りこの点同盟国士が過去數回に亘り行つた輿論調査を對照すれば左の通り

	今日	議會	議會	議會
食料品供給	七七%	七五%	六六%	六六%
武器供給	五五%	五五%	五六%	五六%
軍隊派遣	三七%	三七%	三六%	三六%

佛國の強化と獨ソ聯の動向

ウクライナよりも 廻廊奪還へ

獨ソ接近說の一眞相

チエコを獲て物資も安心

最近英国方面から發表された獨ソ接近說は、モスクワ政府の親英行過ぎの警戒とベルリン官辺の沈默的態度などから、歐州政局の暗流になつたデリケートなトピックとして、依然少なからぬ関心と注目を拂はれてゐることは我はれ事実である。

元來獨ソ両国関係は、ナチ政權の確立を轉機として劇的に変したものであつて、ヒトラー總統がその政治學を表出した「我が闘爭」に言ふ所、殺しない限り、ユダヤ的ボルシエビズム政權とヒトラーの絶滅するナチ政權が存在する限り両国に立つことはあり得ないのである。

◇

さてやはり獨ソ両国の間にはウクライナ問題と云ふ重大問題が横たはつてゐる以上、この未解決問題はチエコ併合によつて解決、原料資源の獲得、ドイツ商品の消費市場としてのウクライナ共和国は同時にソ聯邦にとつては穀倉としての生命線でもあるため獨逸が南部をひた向きに進、眼ソ聯との開戰は不可避と觀られたところ、獨伊軍縮對英佛同盟の抵抗が激化して以來、獨逸の東方進出は急轉に北進へ重点をおいて來ることになつた。

◇

まづ第一番リトアニアトリメーメルの返還を求め、次いでダンチヒ自由市の奪還と獨逸の治外法權道路建設案の如き、波蘭への軍隊通過要求の如き、獨逸の東方進出となつて來た。大戰も繼續せられた獨逸大燒燒作戰はヒトラー總統によつて一挙に開戰されたのも、要するに獨の北方進出を波蘭が英攻進軍同盟の如き方策に依つて阻止せんとしたことに直接結果するのであるが、獨逸の東方進出に對する英佛の包圍政策が遂行過程に解決を執らしめて居れなくしたのであることが問題の既因であると觀られてゐる。

政去年万俗の金、外国為替を獲得し、勞働力やコタン場を始め二千億の軍需工場を獲て生産力の余力を得た他、スロヴアキアの保護領化と獨ルーマニア經済協定によつて可成りの經済的成功を收めたので、これ以上ルーマニアまたソ聯を敵に廻す事は獨逸出来ない。

もしこれを直接にはソ聯を刺激せぬ代り英国の對逸包圍に血路を開く意味のバルチック沿ふ進出策によつて、ソ聯の中立と英國獨逸の孤立化の一石二鳥策に出たものと言ふことが出来るのである。

◇

從つてダンチヒ及び通路を獲る獨逸側の無化に、獨逸が氣まぐれな要求から發生した問題でなくして、十分用意されたる策であることを注目する事に、吾人も亦獨ソ接近說を一笑に付し得ない理由があるのである。

判評大錄附大五

主婦之友 六月號

世界一流の家庭雜誌

母一人子一人の愛兒を戰死させた母の座談會
八百組縁結び媒妁主夫妻の良縁の秘訣
曉の合唱
月收五十圓以上の內職實驗集
少い收入から一萬圓貯めた體驗
安産と育兒特輯
貴切迫る
早く！今すぐ書店へ
五大附錄つき特價七十錢（十錢）
東京・神田 主婦之友社（振替）

服裝子理新の夏

方化服人婦行流

新案特許
體に合せて自由に仕立てられる 老人贈

ミシンいらず經濟第一 浴衣より簡單に作れる！

日本一附錄の特長！

實物大型紙

第三附錄

評判附錄

精肝オネ

錠劑

胃腸 治療豫防 強化促進
結核
骨血

服み易い肝油製劑
特許
發明特許
藤澤友吉商店
大阪市東區道修町
東京日本橋區本町
京城府西小門町
無代送呈
「新榮養讀本」
御試用見本及び
廉價見本

粉白水ナテウ

これからは手離せぬこの一瓶！

ニキビ豫防に
肌アレ止めに
お化粧下に

ムーリクナテウ

法粧化水なか爽の觸感

——先づ洗顔後、ウテナコールドで下地をつくり、次にウテナ粉白粉を輕く刷いてその上にウテナ水白粉を刷毛でつけます

——水白粉は上澄液で薄くとかしたものを筆刷毛で手早くぬりその度に牡丹刷毛で白粉をのばしては又つけていたゞきます

——水白粉をつけ終りましたらその上にウテナベニシングを少量押えるやうにしてつけ最後にウナナ粉白粉を輕くはたいて仕上げをします

——この化粧法は耐久力があつて化粧崩れせず、これからの外出化粧に理想的です

14.5—4.1

空に殘れる（4）

（禁上演）

尾崎士郎 作　高木清 畫

月の影（四）

信作は無感動な音調で女の言葉を聞いてゐたが、

「それもいいさ」

と、投げすてるやうな声で答へた。かすかに歯をかすめるほどの微笑なさを覗ましたが、何處――といふ感じでくつと自分をおさへつけた。

「行きたいと思つたときに行かないともう二度と機會はやつて來ないぜ、やつぱり学生に停つなら、おれのやうな氣まぐれでない、きちんとした男がいいな」

「ほんとにさう思ふ」

「さう思ふさ」

「だからさ――」

伊保子は防波堤の方へ片肘をついた。「いやんなつちまふやなんの。あんたはあたしがどうなつたつていいと思つてるんでせう」

「泣けばよくにでも泣けさうな氣もちなのだ。ひと思ひに泣いてやらうか、――と考へてゐるうちにもう涙がふれてきた。

「それはそれとして、おれの方に惚れかなんの中へ人の姿を吸ひ込むやうに、ゆるやかに門をひらき、影のふかい道の中へ入つてゆかうとすれば、その袋小路の行き詰まりの家の前に、ぼつんと一本の街灯が輝いてゐる。信作はさつきからもうあがる雰囲氣の中でぼつとしてゐられないやうな衝動に襲はれた。彼が意を決して入つてゆかうとすれば、もう誰かが信作の肩をつかまへてゐるやうな感じがする。

各學校生四千餘名 嚴かに遙拜式擧行
臺南の十五周年記念日

【臺南電話】臺南州下各學校記念日の制定十五周年記念日の二十二日臺南州では市内各中等學校生徒多數參集し午前九時、商一中運動場に各學校生徒四千名參列し川村知事の祝辭に續き遙拜式を挙行、南部師範學生を先頭に商一、商二、商工、商職、第二、西門、長老中、南高、第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第百、第百一、第百二、第百三、第百四、第百五、第百六、第百七、第百八、第百九、第百十、第百十一、第百十二、第百十三、第百十四、第百十五、第百十六、第百十七、第百十八、第百十九、第百二十、第百二十一、第百二十二、第百二十三、第百二十四、第百二十五、第百二十六、第百二十七、第百二十八、第百二十九、第百三十、第百三十一、第百三十二、第百三十三、第百三十四、第百三十五、第百三十六、第百三十七、第百三十八、第百三十九、第百四十、第百四十一、第百四十二、第百四十三、第百四十四、第百四十五、第百四十六、第百四十七、第百四十八、第百四十九、第百五十、第百五十一、第百五十二、第百五十三、第百五十四、第百五十五、第百五十六、第百五十七、第百五十八、第百五十九、第百六十、第百六十一、第百六十二、第百六十三、第百六十四、第百六十五、第百六十六、第百六十七、第百六十八、第百六十九、第百七十、第百七十一、第百七十二、第百七十三、第百七十四、第百七十五、第百七十六、第百七十七、第百七十八、第百七十九、第百八十、第百八十一、第百八十二、第百八十三、第百八十四、第百八十五、第百八十六、第百八十七、第百八十八、第百八十九、第百九十、第百九十一、第百九十二、第百九十三、第百九十四、第百九十五、第百九十六、第百九十七、第百九十八、第百九十九、第二百、第二百一、第二百二、第二百三、第二百四、第二百五、第二百六、第二百七、第二百八、第二百九、第二百十、第二百十一、第二百十二、第二百十三、第二百十四、第二百十五、第二百十六、第二百十七、第二百十八、第二百十九、第二百二十、第二百二十一、第二百二十二、第二百二十三、第二百二十四、第二百二十五、第二百二十六、第二百二十七、第二百二十八、第二百二十九、第二百三十、第二百三十一、第二百三十二、第二百三十三、第二百三十四、第二百三十五、第二百三十六、第二百三十七、第二百三十八、第二百三十九、第二百四十、第二百四十一、第二百四十二、第二百四十三、第二百四十四、第二百四十五、第二百四十六、第二百四十七、第二百四十八、第二百四十九、第二百五十、第二百五十一、第二百五十二、第二百五十三、第二百五十四、第二百五十五、第二百五十六、第二百五十七、第二百五十八、第二百五十九、第二百六十、第二百六十一、第二百六十二、第二百六十三、第二百六十四、第二百六十五、第二百六十六、第二百六十七、第二百六十八、第二百六十九、第二百七十、第二百七十一、第二百七十二、第二百七十三、第二百七十四、第二百七十五、第二百七十六、第二百七十七、第二百七十八、第二百七十九、第二百八十、第二百八十一、第二百八十二、第二百八十三、第二百八十四、第二百八十五、第二百八十六、第二百八十七、第二百八十八、第二百八十九、第二百九十、第二百九十一、第二百九十二、第二百九十三、第二百九十四、第二百九十五、第二百九十六、第二百九十七、第二百九十八、第二百九十九、第三百、第三百一、第三百二、第三百三、第三百四、第三百五、第三百六、第三百七、第三百八、第三百九、第三百十、第三百十一、第三百十二、第三百十三、第三百十四、第三百十五、第三百十六、第三百十七、第三百十八、第三百十九、第三百二十、第三百二十一、第三百二十二、第三百二十三、第三百二十四、第三百二十五、第三百二十六、第三百二十七、第三百二十八、第三百二十九、第三百三十、第三百三十一、第三百三十二、第三百三十三、第三百三十四、第三百三十五、第三百三十六、第三百三十七、第三百三十八、第三百三十九、第三百四十、第三百四十一、第三百四十二、第三百四十三、第三百四十四、第三百四十五、第三百四十六、第三百四十七、第三百四十八、第三百四十九、第三百五十、第三百五十一、第三百五十二、第三百五十三、第三百五十四、第三百五十五、第三百五十六、第三百五十七、第三百五十八、第三百五十九、第三百六十、第三百六十一、第三百六十二、第三百六十三、第三百六十四、第三百六十五、第三百六十六、第三百六十七、第三百六十八、第三百六十九、第三百七十、第三百七十一、第三百七十二、第三百七十三、第三百七十四、第三百七十五、第三百七十六、第三百七十七、第三百七十八、第三百七十九、第三百八十、第三百八十一、第三百八十二、第三百八十三、第三百八十四、第三百八十五、第三百八十六、第三百八十七、第三百八十八、第三百八十九、第三百九十、第三百九十一、第三百九十二、第三百九十三、第三百九十四、第三百九十五、第三百九十六、第三百九十七、第三百九十八、第三百九十九、第四百、第四百一、第四百二、第四百三、第四百四、第四百五、第四百六、第四百七、第四百八、第四百九、第四百十、第四百十一、第四百十二、第四百十三、第四百十四、第四百十五、第四百十六、第四百十七、第四百十八、第四百十九、第四百二十、第四百二十一、第四百二十二、第四百二十三、第四百二十四、第四百二十五、第四百二十六、第四百二十七、第四百二十八、第四百二十九、第四百三十、第四百三十一、第四百三十二、第四百三十三、第四百三十四、第四百三十五、第四百三十六、第四百三十七、第四百三十八、第四百三十九、第四百四十、第四百四十一、第四百四十二、第四百四十三、第四百四十四、第四百四十五、第四百四十六、第四百四十七、第四百四十八、第四百四十九、第四百五十、第四百五十一、第四百五十二、第四百五十三、第四百五十四、第四百五十五、第四百五十六、第四百五十七、第四百五十八、第四百五十九、第四百六十、第四百六十一、第四百六十二、第四百六十三、第四百六十四、第四百六十五、第四百六十六、第四百六十七、第四百六十八、第四百六十九、第四百七十、第四百七十一、第四百七十二、第四百七十三、第四百七十四、第四百七十五、第四百七十六、第四百七十七、第四百七十八、第四百七十九、第四百八十、第四百八十一、第四百八十二、第四百八十三、第四百八十四、第四百八十五、第四百八十六、第四百八十七、第四百八十八、第四百八十九、第四百九十、第四百九十一、第四百九十二、第四百九十三、第四百九十四、第四百九十五、第四百九十六、第四百九十七、第四百九十八、第四百九十九、第五百、第五百一、第五百二、第五百三、第五百四、第五百五、第五百六、第五百七、第五百八、第五百九、第五百十、第五百十一、第五百十二、第五百十三、第五百十四、第五百十五、第五百十六、第五百十七、第五百十八、第五百十九、第五百二十、第五百二十一、第五百二十二、第五百二十三、第五百二十四、第五百二十五、第五百二十六、第五百二十七、第五百二十八、第五百二十九、第五百三十、第五百三十一、第五百三十二、第五百三十三、第五百三十四、第五百三十五、第五百三十六、第五百三十七、第五百三十八、第五百三十九、第五百四十、第五百四十一、第五百四十二、第五百四十三、第五百四十四、第五百四十五、第五百四十六、第五百四十七、第五百四十八、第五百四十九、第五百五十、第五百五十一、第五百五十二、第五百五十三、第五百五十四、第五百五十五、第五百五十六、第五百五十七、第五百五十八、第五百五十九、第五百六十、第五百六十一、第五百六十二、第五百六十三、第五百六十四、第五百六十五、第五百六十六、第五百六十七、第五百六十八、第五百六十九、第五百七十、第五百七十一、第五百七十二、第五百七十三、第五百七十四、第五百七十五、第五百七十六、第五百七十七、第五百七十八、第五百七十九、第五百八十、第五百八十一、第五百八十二、第五百八十三、第五百八十四、第五百八十五、第五百八十六、第五百八十七、第五百八十八、第五百八十九、第五百九十、第五百九十一、第五百九十二、第五百九十三、第五百九十四、第五百九十五、第五百九十六、第五百九十七、第五百九十八、第五百九十九、第六百、第六百一、第六百二、第六百三、第六百四、第六百五、第六百六、第六百七、第六百八、第六百九、第六百十、第六百十一、第六百十二、第六百十三、第六百十四、第六百十五、第六百十六、第六百十七、第六百十八、第六百十九、第六百二十、第六百二十一、第六百二十二、第六百二十三、第六百二十四、第六百二十五、第六百二十六、第六百二十七、第六百二十八、第六百二十九、第六百三十、第六百三十一、第六百三十二、第六百三十三、第六百三十四、第六百三十五、第六百三十六、第六百三十七、第六百三十八、第六百三十九、第六百四十、第六百四十一、第六百四十二、第六百四十三、第六百四十四、第六百四十五、第六百四十六、第六百四十七、第六百四十八、第六百四十九、第六百五十、第六百五十一、第六百五十二、第六百五十三、第六百五十四、第六百五十五、第六百五十六、第六百五十七、第六百五十八、第六百五十九、第六百六十、第六百六十一、第六百六十二、第六百六十三、第六百六十四、第六百六十五、第六百六十六、第六百六十七、第六百六十八、第六百六十九、第六百七十、第六百七十一、第六百七十二、第六百七十三、第六百七十四、第六百七十五、第六百七十六、第六百七十七、第六百七十八、第六百七十九、第六百八十、第六百八十一、第六百八十二、第六百八十三、第六百八十四、第六百八十五、第六百八十六、第六百八十七、第六百八十八、第六百八十九、第六百九十、第六百九十一、第六百九十二、第六百九十三、第六百九十四、第六百九十五、第六百九十六、第六百九十七、第六百九十八、第六百九十九、第七百、第七百一、第七百二、第七百三、第七百四、第七百五、第七百六、第七百七、第七百八、第七百九、第七百十、第七百十一、第七百十二、第七百十三、第七百十四、第七百十五、第七百十六、第七百十七、第七百十八、第七百十九、第七百二十、第七百二十一、第七百二十二、第七百二十三、第七百二十四、第七百二十五、第七百二十六、第七百二十七、第七百二十八、第七百二十九、第七百三十、第七百三十一、第七百三十二、第七百三十三、第七百三十四、第七百三十五、第七百三十六、第七百三十七、第七百三十八、第七百三十九、第七百四十、第七百四十一、第七百四十二、第七百四十三、第七百四十四、第七百四十五、第七百四十六、第七百四十七、第七百四十八、第七百四十九、第七百五十、第七百五十一、第七百五十二、第七百五十三、第七百五十四、第七百五十五、第七百五十六、第七百五十七、第七百五十八、第七百五十九、第七百六十、第七百六十一、第七百六十二、第七百六十三、第七百六十四、第七百六十五、第七百六十六、第七百六十七、第七百六十八、第七百六十九、第七百七十、第七百七十一、第七百七十二、第七百七十三、第七百七十四、第七百七十五、第七百七十六、第七百七十七、第七百七十八、第七百七十九、第七百八十、第七百八十一、第七百八十二、第七百八十三、第七百八十四、第七百八十五、第七百八十六、第七百八十七、第七百八十八、第七百八十九、第七百九十、第七百九十一、第七百九十二、第七百九十三、第七百九十四、第七百九十五、第七百九十六、第七百九十七、第七百九十八、第七百九十九、第八百、第八百一、第八百二、第八百三、第八百四、第八百五、第八百六、第八百七、第八百八、第八百九、第八百十、第八百十一、第八百十二、第八百十三、第八百十四、第八百十五、第八百十六、第八百十七、第八百十八、第八百十九、第八百二十、第八百二十一、第八百二十二、第八百二十三、第八百二十四、第八百二十五、第八百二十六、第八百二十七、第八百二十八、第八百二十九、第八百三十、第八百三十一、第八百三十二、第八百三十三、第八百三十四、第八百三十五、第八百三十六、第八百三十七、第八百三十八、第八百三十九、第八百四十、第八百四十一、第八百四十二、第八百四十三、第八百四十四、第八百四十五、第八百四十六、第八百四十七、第八百四十八、第八百四十九、第八百五十、第八百五十一、第八百五十二、第八百五十三、第八百五十四、第八百五十五、第八百五十六、第八百五十七、第八百五十八、第八百五十九、第八百六十、第八百六十一、第八百六十二、第八百六十三、第八百六十四、第八百六十五、第八百六十六、第八百六十七、第八百六十八、第八百六十九、第八百七十、第八百七十一、第八百七十二、第八百七十三、第八百七十四、第八百七十五、第八百七十六、第八百七十七、第八百七十八、第八百七十九、第八百八十、第八百八十一、第八百八十二、第八百八十三、第八百八十四、第八百八十五、第八百八十六、第八百八十七、第八百八十八、第八百八十九、第八百九十、第八百九十一、第八百九十二、第八百九十三、第八百九十四、第八百九十五、第八百九十六、第八百九十七、第八百九十八、第八百九十九、第九百、第九百一、第九百二、第九百三、第九百四、第九百五、第九百六、第九百七、第九百八、第九百九、第九百十、第九百十一、第九百十二、第九百十三、第九百十四、第九百十五、第九百十六、第九百十七、第九百十八、第九百十九、第九百二十、第九百二十一、第九百二十二、第九百二十三、第九百二十四、第九百二十五、第九百二十六、第九百二十七、第九百二十八、第九百二十九、第九百三十、第九百三十一、第九百三十二、第九百三十三、第九百三十四、第九百三十五、第九百三十六、第九百三十七、第九百三十八、第九百三十九、第九百四十、第九百四十一、第九百四十二、第九百四十三、第九百四十四、第九百四十五、第九百四十六、第九百四十七、第九百四十八、第九百四十九、第九百五十、第九百五十一、第九百五十二、第九百五十三、第九百五十四、第九百五十五、第九百五十六、第九百五十七、第九百五十八、第九百五十九、第九百六十、第九百六十一、第九百六十二、第九百六十三、第九百六十四、第九百六十五、第九百六十六、第九百六十七、第九百六十八、第九百六十九、第九百七十、第九百七十一、第九百七十二、第九百七十三、第九百七十四、第九百七十五、第九百七十六、第九百七十七、第九百七十八、第九百七十九、第九百八十、第九百八十一、第九百八十二、第九百八十三、第九百八十四、第九百八十五、第九百八十六、第九百八十七、第九百八十八、第九百八十九、第九百九十、第九百九十一、第九百九十二、第九百九十三、第九百九十四、第九百九十五、第九百九十六、第九百九十七、第九百九十八、第九百九十九、第十百、第十百一、第十百二、第十百三、第十百四、第十百五、第十百六、第十百七、第十百八、第十百九、第十百十、第十百十一、第十百十二、第十百十三、第十百十四、第十百十五、第十百十六、第十百十七、第十百十八、第十百十九、第十百二十、第十百二十一、第十百二十二、第十百二十三、第十百二十四、第十百二十五、第十百二十六、第十百二十七、第十百二十八、第十百二十九、第十百三十、第十百三十一、第十百三十二、第十百三十三、第十百三十四、第十百三十五、第十百三十六、第十百三十七、第十百三十八、第十百三十九、第十百四十、第十百四十一、第十百四十二、第十百四十三、第十百四十四、第十百四十五、第十百四十六、第十百四十七、第十百四十八、第十百四十九、第十百五十、第十百五十一、第十百五十二、第十百五十三、第十百五十四、第十百五十五、第十百五十六、第十百五十七、第十百五十八、第十百五十九、第十百六十、第十百六十一、第十百六十二、第十百六十三、第十百六十四、第十百六十五、第十百六十六、第十百六十七、第十百六十八、第十百六十九、第十百七十、第十百七十一、第十百七十二、第十百七十三、第十百七十四、第十百七十五、第十百七十六、第十百七十七、第十百七十八、第十百七十九、第十百八十、第十百八十一、第十百八十二、第十百八十三、第十百八十四、第十百八十五、第十百八十六、第十百八十七、第十百八十八、第十百八十九、第十百九十、第十百九十一、第十百九十二、第十百九十三、第十百九十四、第十百九十五、第十百九十六、第十百九十七、第十百九十八、第十百九十九、第百、第百一、第百二、第百三、第百四、第百五、第百六、第百七、第百八、第百九、第百十、第百十一、第百十二、第百十三、第百十四、第百十五、第百十六、第百十七、第百十八、第百十九、第百二十、第百二十一、第百二十二、第百二十三、第百二十四、第百二十五、第百二十六、第百二十七、第百二十八、第百二十九、第百三十、第百三十一、第百三十二、第百三十三、第百三十四、第百三十五、第百三十六、第百三十七、第百三十八、第百三十九、第百四十、第百四十一、第百四十二、第百四十三、第百四十四、第百四十五、第百四十六、第百四十七、第百四十八、第百四十九、第百五十、第百五十一、第百五十二、第百五十三、第百五十四、第百五十五、第百五十六、第百五十七、第百五十八、第百五十九、第百六十、第百六十一、第百六十二、第百六十三、第百六十四、第百六十五、第百六十六、第百六十七、第百六十八、第百六十九、第百七十、第百七十一、第百七十二、第百七十三、第百七十四、第百七十五、第百七十六、第百七十七、第百七十八、第百七十九、第百八十、第百八十一、第百八十二、第百八十三、第百八十四、第百八十五、第百八十六、第百八十七、第百八十八、第百八十九、第百九十、第百九十一、第百九十二、第百九十三、第百九十四、第百九十五、第百九十六、第百九十七、第百九十八、第百九十九、第二百、第二百一、第二百二、第二百三、第二百四、第二百五、第二百六、第二百七、第二百八、第二百九、第二百十、第二百十一、第二百十二、第二百十三、第二百十四、第二百十五、第二百十六、第二百十七、第二百十八、第二百十九、第二百二十、第二百二十一、第二百二十二、第二百二十三、第二百二十四、第二百二十五、第二百二十六、第二百二十七、第二百二十八、第二百二十九、第二百三十、第二百三十一、第二百三十二、第二百三十三、第二百三十四、第二百三十五、第二百三十六、第二百三十七、第二百三十八、第二百三十九、第二百四十、第二百四十一、第二百四十二、第二百四十三、第二百四十四、第二百四十五、第二百四十六、第二百四十七、第二百四十八、第二百四十九、第二百五十、第二百五十一、第二百五十二、第二百五十三、第二百五十四、第二百五十五、第二百五十六、第二百五十七、第二百五十八、第二百五十九、第二百六十、第二百六十一、第二百六十二、第二百六十三、第二百六十四、第二百六十五、第二百六十六、第二百六十七、第二百六十八、第二百六十九、第二百七十、第二百七十一、第二百七十二、第二百七十三、第二百七十四、第二百七十五、第二百七十六、第二百七十七、第二百七十八、第二百七十九、第二百八十、第二百八十一、第二百八十二、第二百八十三、第二百八十四、第二百八十五、第二百八十六、第二百八十七、第二百八十八、第二百八十九、第二百九十、第二百九十一、第二百九十二、第二百九十三、第二百九十四、第二百九十五、第二百九十六、第二百九十七、第二百九十八、第二百九十九、第三百、第三百一、第三百二、第三百三、第三百四、第三百五、第三百六、第三百七、第三百八、第三百九、第三百十、第三百十一、第三百十二、第三百十三、第三百十四、第三百十五、第三百十六、第三百十七、第三百十八、第三百十九、第三百二十、第三百二十一、第三百二十二、第三百二十三、第三百二十四、第三百二十五、第三百二十六、第三百二十七、第三百二十八、第三百二十九、第三百三十、第三百三十一、第三百三十二、第三百三十三、第三百三十四、第三百三十五、第三百三十六、第三百三十七、第三百三十八、第三百三十九、第三百四十、第三百四十一、第三百四十二、第三百四十三、第三百四十四、第三百四十五、第三百四十六、第三百四十七、第三百四十八、第三百四十九、第三百五十、第三百五十一、第三百五十二、第三百五十三、第三百五十四、第三百五十五、第三百五十六、第三百五十七、第三百五十八、第三百五十九、第三百六十、第三百六十一、第三百六十二、第三百六十三、第三百六十四、第三百六十五、第三百六十六、第三百六十七、第三百六十八、第三百六十九、第三百七十、第三百七十一、第三百七十二、第三百七十三、第三百七十四、第三百七十五、第三百七十六、第三百七十七、第三百七十八、第三百七十九、第三百八十、第三百八十一、第三百八十二、第三百八十三、第三百八十四、第三百八十五、第三百八十六、第三百八十七、第三百八十八、第三百八十九、第三百九十、第三百九十一、第三百九十二、第三百九十三、第三百九十四、第三百九十五、第三百九十六、第三百九十七、第三百九十八、第三百九十九、第四百、第四百一、第四百二、第四百三、第四百四、第四百五、第四百六、第四百七、第四百八、第四百九、第四百十、第四百十一、第四百十二、第四百十三、第四百十四、第四百十五、第四百十六、第四百十七、第四百十八、第四百十九、第四百二十、第四百二十一、第四百二十二、第四百二十三、第四百二十四、第四百二十五、第四百二十六、第四百二十七、第四百二十八、第四百二十九、第四百三十、第四百三十一、第四百三十二、第四百三十三、第四百三十四、第四百三十五、第四百三十六、第四百三十七、第四百三十八、第四百三十九、第四百四十、第四百四十一、第四百四十二、第四百四十三、第四百四十四、第四百四十五、第四百四十六、第四百四十七、第四百四十八、第四百四十九、第四百五十、第四百五十一、第四百五十二、第四百五十三、第四百五十四、第四百五十五、第四百五十六、第四百五十七、第四百五十八、第四百五十九、第四百六十、第四百六十一、第四百六十二、第四百六十三、第四百六十四、第四百六十五、第四百六十六、第四百六十七、第四百六十八、第四百六十九、第四百七十、第四百七十一、第四百七十二、第四百七十三、第四百七十四、第四百七十五、第四百七十六、第四百七十七、第四百七十八、第四百七十九、第四百八十、第四百八十一、第四百八十二、第四百八十三、第四百八十四、第四百八十五、第四百八十六、第四百八十七、第四百八十八、第四百八十九、第四百九十、第四百九十一、第四百九十二、第四百九十三、第四百九十四、第四百九十五、第四百九十六、第四百九十七、第四百九十八、第四百九十九、第五百、第五百一、第五百二、第五百三、第五百四、第五百五、第五百六、第五百七、第五百八、第五百九、第五百十、第五百十一、第五百十二、第五百十三、第五百十四、第五百十五、第五百十六、第五百十七、第五百十八、第五百十九、第五百二十、第五百二十一、第五百二十二、第五百二十三、第五百二十四、第五百二十五、第五百二十六、第五百二十七、第五百二十八、第五百二十九、第五百三十、第五百三十一、第五百三十二、第五百三十三、第五百三十四、第五百三十五、第五百三十六、第五百三十七、第五百三十八、第五百三十九、第五百四十、第五百四十一、第五百四十二、第五百四十三、第五百四十四、第五百四十五、第五百四十六、第五百四十七、第五百四十八、第五百四十九、第五百五十、第五百五十一、第五百五十二、第五百五十三、第五百五十四、第五百五十五、第五百五十六、第五百五十七、第五百五十八、第五百五十九、第五百六十、第五百六十一、第五百六十二、第五百六十三、第五百六十四、第五百六十五、第五百六十六、第五百六十七、第五百六十八、第五百六十九、第五百七十、第五百七十一、第五百七十二、第五百七十三、第五百七十四、第五百七十五、第五百七十六、第五百七十七、第五百七十八、第五百七十九、第五百八十、第五百八十一、第五百八十二、第五百八十三、第五百八十四、第五百八十五、第五百八十六、第五百八十七、第五百八十八、第五百八十九、第五百九十、第五百九十一、第五百九十二、第五百九十三、第五百九十四、第五百九十五、第五百九十六、第五百九十七、第五百九十八、第五百九十九、第六百、第六百一、第六百二、第六百三、第六百四、第六百五、第六百六、第六百七、第六百八、第六百九、第六百十、第六百十一、第六百十二、第六百十三、第六百十四、第六百十五、第六百十六、第六百十七、第六百十八、第六百十九、第六百二十、第六百二十一、第六百二十二、第六百二十三、第六百二十四、第六百二十五、第六百二十六、第六百二十七、第六百二十八、第六百二十九、第六百三十、第六百三十一、第六百三十二、第六百三十三、第六百三十四、第六百三十五、第六百三十六、第六百三十七、第六百三十八、第六百三十九、第六百四十、第六百四十一、第六百四十二、第六百四十三、第六百四十四、第六百四十五、第六百四十六、第六百四十七、第六百四十八、第六百四十九、第六百五十、第六百五十一、第六百五十二、第六百五十三、第六百五十四、第六百五十五、第六百五十六、第六百五十七、第六百五十八、第六百五十九、第六百六十、第六百六十一、第六百六十二、第六百六十三、第六百六十四、第六百六十五、第六百六十六、第六百六十七、第六百六十八、第六百六十九、第六百七十、第六百七十一、第六百七十二、第六百七十三、第六百七十四、第六百七十五、第六百七十六、第六百七十七、第六百七十八、第六百七十九、第六百八十、第六百八十一、第六百八十二、第六百八十三、第六百八十四、第六百八十五、第六百八十六、第六百八十七、第六百八十八、第六百八十九、第六百九十、第六百九十一、第六百九十二、第六百九十三、第六百九十四、第六百九十五、第六百九十六、第六百九十七、第六百九十八、第六百九十九、第七百、第七百一、第七百二、第七百三、第七百四、第七百五、第七百六、第七百七、第七百八、第七百九、第七百十、第七百十一、第七百十二、第七百十三、第七百十四、第七百十五、第七百十六、第七百十七、第七百十八、第七百十九、第七百二十、第七百二十一、第七百二十二、第七百二十三、第七百二十四、第七百二十五、第七百二十六、第七百二十七、第七百二十八、第七百二十九、第七百三十、第七百三十一、第七百三十二、第七百三十三、第七百三十四、第七百三十五、第七百三十六、第七百三十七、第七百三十八、第七百三十九、第七百四十、第七百四十一、第七百四十二、第七百四十三、第七百四十四、第七百四十五、第七百四十六、第七百四十七、第七百四十八、第七百四十九、第七百五十、第七百五十一、第七百五十二、第七百五十三、第七百五十四、第七百五十五、第七百五十六、第七百五十七、第七百五十八、第七百五十九、第七百六十、第七百六十一、第七百六十二、第七百六十三、第七百六十四、第七百六十五、第七百六十六、第七百六十七、第七百六十八、第七百六十九、第七百七十、第七百七十一、第七百七十二、第七百七十三、第七百七十四、第七百七十五、第七百七十六、第七百七十七、第七百七十八、第七百七十九、第七百八十、第七百八十一、第七百八十二、第七百八十三、第七百八十四、第七百八十五、第七百八十六、第七百八十七、第七百八十八、第七百八十九、第七百九十、第七百九十一、第七百九十二、第七百九十三、第七百九十四、第七百九十五、第七百九十六、第七百九十七、第七百九十八、第七百九十九、第八百、第八百一、第八百二、第八百三、第八百四、第八百五、第八百六、第八百七、第八百八、第八百九、第八百十、第八百十一、第八百十二、第八百十三、第八百十四、第八百十五、第八百十六、第八百十七、第八百十八、第八百十九、第八百二十、第八百二十一、第八百二十二、第八百二十三、第八百二十四、第八百二十五、第八百二十六、第八百二十七、第八百二十八、第八百二十九、第八百三十、第八百三十一、第八百三十二、第八百三十三、第八百三十四、第八百三十五、第八百三十六、第八百三十七、第八百三十八、第八百三十九、第八百四十、第八百四十一、第八百四十二、第八百四十三、第八百四十四、第八百四十五、第八百四十六、第八百四十七、第八百四十八、第八百四十九、第八百五十、第八百五十一、第八百五十二、第八百五十三、第八百五十四、第八百五十五、第八百五十六、第八百五十七、第八百五十八、第八百五十九、第八百六十、第八百六十一、第八百六十二、第八百六十三、第八百六十四、第八百六十五、第八百六十六、第八百六十七、第八百六十八、第八百六十九、第八百七十、第八百七十一、第八百七十二、第八百七十三、第八百七十四、第八百七十五、第八百七十六、第八百七十七、第八百七十八、第八百七十九、第八百八十、第八百八十一、第八百八十二、第八百八十三、第八百八十四、第八百八十五、第八百八十六、第八百八十七、第八百八十八、第八百八十九、第八百九十、第八百九十一、第八百九十二、第八百九十三、第八百九十四、第八百九十五、第八百九十六、第八百九十七、第八百九十八、第八百九十九、第九百、第九百一、第九百二、第九百三、第九百四、第九百五、第九百六、第九百七、第九百八、第九百九、第九百十、第九百十一、第九百十二、第九百十三、第九百十四、第九百十五、第九百十六、第九百十七、第九百十八、第九百十九、第九百二十、第九百二十一、第九百二十二、第九百二十三、第九百二十四、第九百二十五、第九百二十六、第九百二十七、第九百二十八、第九百二十九、第九百三十、第九百三十一、第九百三十二、第九百三十三、第九百三十四、第九百三十五、第九百三十六、第九百三十七、第九百三十八、第九百三十九、第九百四十、第九百四十一、第九百四十二、第九百四十三、第九百四十四、第九百四十五、第九百四十六、第九百四十七、第九百四十八、第九百四十九、第九百五十、第九百五十一、第九百五十二、第九百五十三、第九百五十四、第九百五十五、第九百五十六、第九百五十七、第九百五十八、第九百五十九、第九百六十、第九百六十一、第九百六十二、第九百六十三、第九百六十四、第九百六十五、第九百六十六、第九百六十七、第九百六十八、第九百六十九、第九百七十、第九百七十一、第九百七十二、第九百七十三、第九百七十四、第九百七十五、第九百七十六、第九百七十七、第九百七十八、第九百七十九、第九百八十、第九百八十一、第九百八十二、第九百八十三、第九百八十四、第九百八十五、第九百八十六、第九百八十七、第九百八十八、第九百八十九、第九百九十、第九百九十一、第九百九十二、第九百九十三、第九百九十四、第九百九十五、第九百九十六、第九百九十七、第九百九十八、第九百九十九、第十百、第十百一、第十百二、第十百三、第十百四、第十百五、第十百六、第十百七、第十百八、第十百九、第十百十、第十百十一、第十百十二、第十百十三、第十百十四、第十百十五、第十百十六、第十百十七、第十百十八、第十百十九、第十百二十、第十百二十一、第十百二十二、第十百二十三、第十百二十四、第十百二十五、第十百二十六、第十百二十七、第十百二十八、第十百二十九、第十百三十、第十百三十一、第十百三十二、第十百三十三、第十百三十四、第十百三十五、第十百三十六、第十百三十七、第十百三十八、第十百三十九、第十百四十、第十百四十一、第十百四十二、第十百四十三、第十百四十四、第十百四十五、第十百四十六、第十百四十七、第十百四十八、第十百四十九、第十百五十、第十百五十一、第十百五十二、第十百五十三、第十百五十四、第十百五十五、第十百五十六、第十百五十七、第十百五十八、第十百五十九、第十百六十、第十百六十一、第十百六十二、第十百六十三、第十百六十四、第十百六十五、第十百六十六、第十百六十七、第十百六十八、第十百六十九、第十百七十、第十百七十一、第十百七十二、第十百七十三、第十百七十四、第十百七十五、第十百七十六、第十百七十七、第十百七十八、第十百七十九、第十百八十、第十百八十一、第十百八十二、第十百八十三、第十百八十四、第十百八十五、第十百八十六、第十百八十七、第十百八十八、第十百八十九、第十百九十、第十百九十一、第十百九十二、第十百九十三、第十百九十四、第十百九十五、第十百九十六、第十百九十七、第十百九十八、第十百九十九、第百、第百一、第百二、第百三、第百四、第百五、第百六、第百七、第百八、第百九、第百十、第百十一、第百十二、第百十三、第百十四、第百十五、第百十六、第百十七、第百十八、第百十九、第百二十、第百二十一、第百二十二、第百二十三、第百二十四、第百二十五、第百二十六、第百二十七、第百二十八、第百二十九、第百三十、第百三十一、第百三十二、第百三十三、第百三十四、第百三十五、第百三十六、第百三十七、第百三十八、第百三十九、第百四十、第百四十一、第百四十二、第百四十三、第百四十四、第百四十五、第百四十六、第百四十七、第百四十八、第百四十九、第百五十、第百五十一、第百五十二、第百五十三、第百五十四、第百五十五、第百五十六、第百五十七、第百五十八、第百五十九、第百六十、第百六十一、第百六十二、第百六十三、第百六十四、第百六十五、第百六十六、第百六十七、第百六十八、第百六十九、第百七十、第百七十一、第百七十二、第百七十三、第百七十四、第百七十五、第百七十六、第百七十七、第百七十八、第百七十九、第百八十、第百八十一、第百八十二、第百八十三、第百八十四、第百八十五、第百八十六、第百八十七、第百八十八、第百八十九、第百九十、第百九十一、第百九十二、第百九十三、第百九十四、第百九十五、第百九十六、第百九十七、第百九十八、第百九十九、第二百、第二百一、第二百二、第二百三、第二百四、第二百五、第二百六、第二百七、第二百八、第二百九、第二百十、第二百十一、第二百十二、第二百十三、第二百十四、第二百十五、第二百十六、第二百十七、第二百十八、第二百十九、第二百二十、第二百二十一、第二百二十二、第二百二十三、第二百二十四、第二百二十五、第二百二十六、第二百二十七、第二百二十八、第二百二十九、第二百三十、第二百三十一、第二百三十二、第二百三十三、第二百三十四、第二百三十五、第二百三十六、第二百三十七、第二百三十八、第二百三十九、第二百四十、第二百四十一、第二百四十二、第二百四十三、第二百四十四、第二百四十五、第二百四十六、第二百四十七、第二百四十八、第二百四十九、第二百五十、第二百五十一、第二百五十二、第二百五十三、第二百五十四、第二百五十五、第二百五十六、第二百五十七、第二百五十八、第二百五十九、第二百六十、第二百六十一、第二百六十二、第二百六十三、第二百六十四、第二百六十五、第二百六十六、第二百六十七、第二百六十八、第二百六十九、第二百七十、第二百七十一、第二百七十二、第二百七十三、第二百七十四、第二百七十五、第二百七十六、第二百七十七、第二百七十八、第二百七十九、第二百八十、第二百八十一、第二百八十二、第二百八十三、第二百八十四、第二百八十五、第二百八十六、第二百八十七、第二百八十八、第二百八十九、第二百九十、第二百九十一、第二百九十二、第二百九十三、第二百九十四、第二百九十五、第二百九十六、第二百九十七、第二百九十八、第二百九十九、第三百、第三百一、第三百二、第三百三、第三百四、第三百五、第三百六、第三百七、第三百八、第三百九、第三百十、第三百十一、第三百十二、第三百十三、第三百十四、第三百十五、第三百十六、第三百十七、第三百十八、第三百十九、第三百二十、第三百二十一、第三百二十二、第三百二十三、第三百二十四、第三百二十五、第三百二十六、第三百二十七、第三百二十八、第三百二十九、第三百三十、第三百三十一、第三百三十二、第三百三十三、第三百三十四、第三百三十五、第三百三十六、第三百三十七、第三百三十八、第三百三十九、第三百四十、第三百四十一、第三百四十二、第三百四十三、第三百四十四、第三百四十五、第三百四十六、第三百四十七、第三百四十八、第三百四十九、第三百五十、第三百五十一、第三百五十二、第三百五十三、第三百五十四、第三百五十五、第三百五十六、第三百五十七、第三百五十八、第三百五十九、第三百六十、第三百六十一、第三百六十二、第三百六十三、第三百六十四、第三百六十五、第三百六十六、第三百六十七、第三百六十八、第三百六十九、第三百七十、第三百七十一、第三百七十二、第三百七十三、第三百七十四、第三百七十五、第三百七十六、第三百七十七、第三百七十八、第三百七十九、第三百八十、第三百八十一、第三百八十二、第三百八十三、第三百八十四、第三百八十五、第三百八十六、第三百八十七、第三百八十八、第三百八十九、第三百九十、第三百九十一、第三百九十二、第三百九十三、第三百九十四、第三百九十五、第三百九十六、第三百九十七、第三百九十八、第三百九十九、第四百、第四百一、第四百二、第四百三、第四百四、第四百五、第四百六、第四百七、第四百八、第四百九、第四百十、第四百十一、第四百十二、第四百十三、第四百十四、第四百十五、第四百十六、第四百十七、第四百十八、第四百十九、第四百二十、第四百二十一、第四百二十二、第四百二十三、第四百二十四、第四百二十五、第四百二十六、第四百二十七、第四百二十八、第四百二十九、第四百三十、第四百三十一、第四百三十二、第四百三十三、第四百三十四、第四百三十五、第四百三十六、第四百三十七、第四百三十八、第四百三十九、第四百四十、第四百四十一、第四百四十二、第四百四十三、第四百四十四、第四百四十五、第四百四十六、第四百四十七、第四百四十八、第四百四十九、第四百五十、第四百五十一、第四百五十二、第四百五十三、第四百五十四、第四百五十五、第四百五十六、第四百五十七、第四百五十八、第四百五十九、第四百六十、第四百六十一、第四百六十二、第四百六十三

美術あれこれ

立石鐵臣

臺陽美術と私

▽臺陽美術は今年で何回になるか知らん。五回位なるか。發會式の時臨席の或る大官から、私設展の起伏常なきを即指され、せいぜい長續きのするやう戒められたが、よくそれに應へて來たのは驚嘆していい。

▽第一回以後の台展展を見てゐないから、內容にどんな消長を示してゐるか知るよしもない。もつとも會員の大方の作品は東京の各展で見て來た。しかしそれを以つて台展展の一般を知ることは出來ない。新風ありやなしや。

▽今度の台展展には私の作品も列んだ筈である。第一回展後退會した私は、これで復帰したことになるら。何故再び台展展へ入つたかといふ三の來信もあつたのでその事情を記す。退會に声明して復帰に跡つてゐるのもをかしいに違ひない

▽過日某上の場佐二郎と鹿島の典を訪て田中清かとなつた。鹿君とは、會員一同の寄意なりとして復帰をすすめること再た友情を強めた。そこで鹿君に跡して復帰した作品を鹿君に跡したのである。

▽四年の長期と、在東京の私には遠隔出の有無して來てゐるやうである。台展にあつては、人事の運營はなほ多少とも疑くであらう。展覽會事業の發達は少からず私の時間と精神とを費消させるだらう。幸ひに不在會員となる私にはその事なくて済む。不在會員のわがままを會員諸氏は諒としてくれ、私は作品を展示するのみ。

毎月發表展

▽過日、桑田喜好君が東上した折ふ北で、十人展と云つて毎月作品を發表展示するものが出來てゐると聞いた。楽晴しい元氣だと思ふ一方、それは大変なことだと思つた。その為の經費のことはないか。

▽東京でも一時、街の同人會で、そのことが流行つたことがある。今の自由美術の前身、新時代美術の出來た時は毎月發表展をやつたそれからの流行である。いま毎月やつてゐるのは無い。隔月も無いやうだ。いま街の同人展で一番いい四行會（國立の佐藤英夫、竹中二郎、中島彰、富樫良平）は年に二回位なるだらう。

▽毎月發表する方法は發表が少いと思ふ。本當に仕事を探究的にやつてゐれば却々毎月發表出來ないとも、そして決して怠け者ではないが、毎月發表の立場に置かれたら仕事の退化を考へて恐ろしい。自分のこれまでの一ヶ月コヶ月を振り返ると作品の数はあり得ない。見せてはならない日記のやうなものでまた機微の部分品のやうなものを人に見せたつて何のことやらだ。

…寄稿は臺者の今年度圖展出品作入日と題…

臺日歌壇　選者　二郎

冬北　陸中　シゲ

この島の珍らしき花故里の友に送ると慣むかきさりす
木枯が吹きて冷たき冬の夜の窓の隅にこほろぎの鳴く
春雨の音とききれば故里の野山を うるはす雨の目に見ゆ
春雨に抜ら濡れし紅つつじ今日 暫く咲きなほりたり

筆隨はがき

趣味の生活

世は擧げて統制、親和の時代となれるも、半面實社會には相克、摩擦の響相當激甚なるを覺ゆ。如斯世相の間にありて開事と見らるる趣味同人會主催の毎月の展觀も、不十分ながら一種の潤を人間に與ふるにより、其機續を多とするのである。繪畫彫刻等の美術品にて、其技、神に通ずるものは新古を問はず觀者をして其作品に自然と頭下り引付けらるる偉力なる事は、昔く人の知る所なるが、趣味生活に之等の作品に接し得ざるを憾と爲す、閑問題と見ゆる如斯方面の開拓が其眼達識の人人に依りて、一日も速に其緒に就かん事こそ望ましき極みなれ。

高砂茶酒　荒井賢太郎

▽この欄は私の作品を在京の人に見て頂くうへに誠に幸ひである台展以外に発表機關のあることは自分の作品の成生を知つて頂くうへに幸さこのうへない。友情を鞭して厚く復帰した運田は以上つくして他意ない。

片片茶飯愁抄

石田道雄

★

音聲を有たない母の聲音數は、けふも夕の厨から聞えてくる。わたくしは、夕飯をおいて目をつぶる。

いつかは、この歌も、子としてのわたくしの記憶にだけしか、残らない日がくるのであらうか。

なんといふ自らな、やさしいメロディーだらう。先天的なものの有つ、言ひがたい聲音の音色の、なんと美しく哀しいことだらう。

「お母さん！」

声に出したいのを、しづかに堪へて、わたくしは目をつぶつてゐる。

★

夜半に目がさめると、なかなか寝つかれない。万物セキとして声のない中に、人間なんて可愛いものだと、チラと考へる。生意気な野郎もケチな野郎も、とにかくお撒ひで佳良く、勇でも善らしく寝てゐるのだらうと。

しかしその後から、こんな具に して他愛もなく年をとつては死んでゆくのかと、感慨として、思を巡らせてゐる。

雜記帳

▲銀座はサロンバルの八時過ぎ、頭のはげあがつた、もみあげの長い、當世あまり流行せぬアバタ顔の五十がらみの紳士が四方八方から女給さんにとりまかれてゐた。しばらくひそひそしてゐたが急にみんなさはめいて「先生せひ連れて行つてネ」「あたしもよ」「先生私一緒に行つちや駄目」などと嬌聲が俄然ピッチをあげて先生といはれる紳士に迫つた

▲その狼狽をはるかに眺めてゐた酔人達もしばらくのつけにとられる程の騒ぎだつた、中には待合や旅行の相談にしては聲が大きすぎるし、あいつ何者だくらわけのものではない。當惑してゐる紳士はサロンバルの一枚でも一枚でも剥べれればいいのだと云へばそれまでだが發表してもはじまらない性質の魅惑を覆けないかぎり仕事の進展は無いもので、毎月發表の意義は兎もすれば機會的になりやすい事を一層警戒にしやしないかと思ふ。

▽私など毎日繪を掘く樂しさに

先生の正體

万歳の聲は巷にとどろきてますらをどもは勇み立つ。かくも一輪のカーネーションの花咲きて今朝は明るき部屋に坐りぬ。一輪のカーネーションの花咲きて思かにしげく花びしかりけり　樹林　李武　雲雲

年月の行くこと迅しとき世の十年の忌の春となりたり。亡き母のみ墓を入にたづね來て野のあら草の中に佇む。なつかしき母のみ墓に供へむと野の花手折り我は來にけり

▲「君たちを連れて行きたいのは山々だがね、支那の明は日本の女をすく狙ふ、ずゐぶん殺風なのがゐるから、まあ御遠慮な旅行をしないがいいわかつたね」

▲ところが女給のなかに少し斜違いのがゐて「先生、久米先生あたし旅は慣れんから、どうぞ！」と大きな聲で叫び出したので、くだんの紳士、久米正雄先生一同にサロン、内に正體をバクロされ、一寸てれながらその話はこの次だといふや食堂と出まあげたは思惑々々

んでゐるんかとたいふ猛烈の炎を燃やした連中もあつたが、赤い聲を張りあげる女給連を尊めて徐ろに先生なる存在が大きな聲で語りだしたのである、つまりこの騒動の原因をみんなにときあかして安心させようといふ下心があつたのである

▲「君たちを連れて行きたいのは山々だがね、支那の明は日本の女をすく狙ふ、ずゐぶん殺風なのがゐるから、まあ御遠慮な旅行をしないがいいわかつたね」

▲ところが女給のなかに少し斜違いのがゐて「先生、久米先生あたし旅は慣れんから、どうぞ！」と大きな聲で叫び出したので、くだんの紳士、久米正雄先生一同にサロン、内に正體をバクロされ、一寸てれながらその話はこの次だといふや食堂と出まあげたは思惑々々

淋病

革新療法の確立！
內服短期根治達成
醫藥界に齎らされたる
六〇六號以來の大福音

眞正化學治療遂に完成！

最新內服化學療法劑**トルダー**の發明は、彼の梅毒に對する六〇六號について近世醫藥界に再び齎らされた一大福音である。即ち淋菌連鎖狀球菌、葡萄狀球菌等の化膿性疾患に對する**トルダー**の徹底威力は、臨床醫家の實驗によつて既に立證確認され、現代醫藥界に於ける劃期的の最新知見と大絶讃を博して居る。

この最新發明藥**トルダー**を主劑となし、特殊の製造技能、工程により精製される本劑**バロール錠**は、その組成內容に於て幾多の醫化學的特質を有し、次の如き優秀の治効を擧げ最近治淋藥界に於ける眞正化學治療劑として泌尿器科醫間に絶大なる聲價を昂めてゐる。

優秀的確なる治驗の特質！

即ち本劑**バロール錠**は、注射、洗滌等の煩雜な手數を一切必要とせず、極めて少量（一回二—三錠づゝ一日三回）を內服するのみにて短期間に淋病の根治を達成するもので、特に痛み、膿の激しい感染初期或は再發急性時に內服すれば數日にして自覺症狀が消滅し、清澄な尿となる事が報告されて居る。而も醫治作用は內より外へ向ふので、症狀の內攻增惡を未然に防止し極めて理想的である。

尙**バロール錠**の誇る純粹性は一般治淋藥に見る如き副作用なく、規則正しく連續服用が出來る故、藥能は順次體內に蓄積され力强い藥理效果を發揮し病因を根源より除去する。而して極惡性の淋病で、又治癒に迅速を要する特殊の場合は强力療法として特に**バロール錠**と共に**バロール**（球）の併服を推奬する。二藥の相乘作用は、他の如何なる單一療法よりも優越する。

▼**バロール錠**は鮮・蚤・滿支の有力藥店にあり。品切れの節は特約店又は總代理店へ申込あれ。

▼**バロール錠**と**バロール球**を併服する場合は、錠を毎食後二錠乃至三錠宛、球を一球宛午前、午後の中間二回に用ふべし。

▼注意▼

▼**バロール**球は日本內地及び鮮、滿、支、蚤の有力藥店にあり。品切れの節は特約店又は總代理店へ御申込あれば急送す。

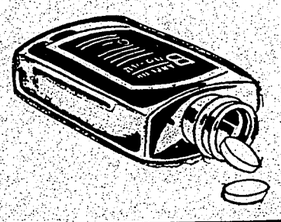
【藥價】
一圓八十錢
三圓五十錢
五圓五十錢
十圓

製造元　Ⓨ應用式製藥株會社
總代理店　大木合名會社
東京市神田區鍛冶町一
支店　大阪市東區淡路町一
出張所　北京東安門大草廠

京都帝國大學
化學研究所　嚴製
特許
バロール
（保藥第）

特約店
南京市　南市　蚤市　中市　竹市　北市　北市
廣州市　山市　安市　奈市　九市　名市　愛市
國泰大藥房　三大藥房　安大藥房　二大藥房
生生藥房　生生藥房
大藥房　大藥房　大藥房　大藥房　大藥房　大藥房

內服
錠バロール
（保藥第錠）



BT5—13

世界唯一の化乳空眞！

ムーレクドルーコトーレ

試しに舶來品と比べて御覽なさい！使つた後を白紙で拭いて見るとよく解るのですが、白紙に汚れがつきますのは、まだ完全に洗顏されて居ない證據です。

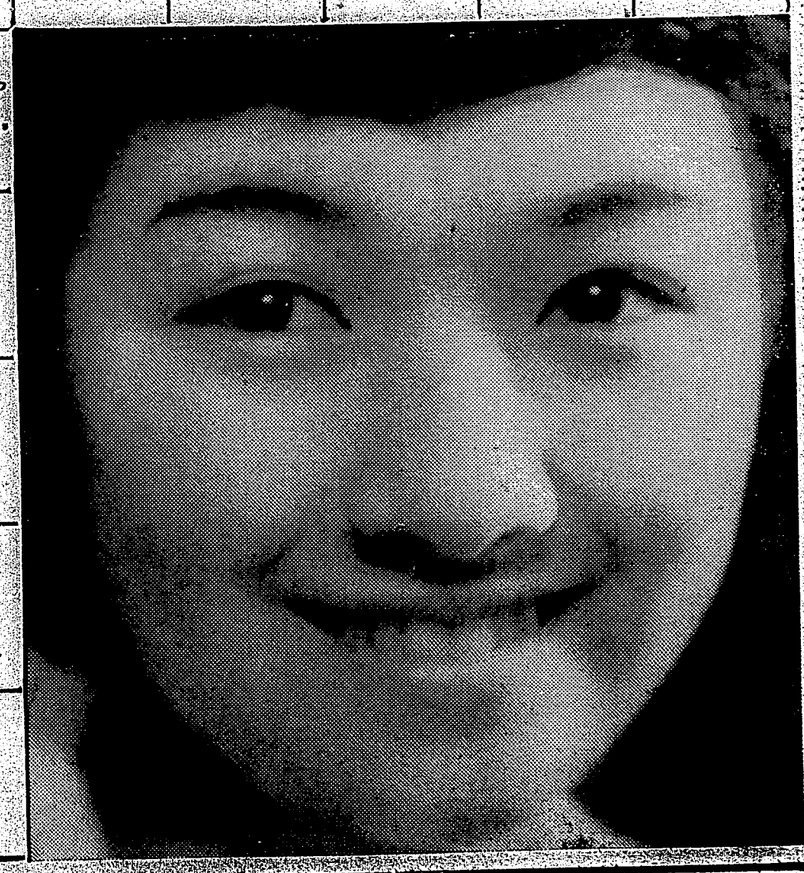
レートコールドを使つた後を幾ら拭いても、絶對に白紙は純白のまゝです。毛孔の深部にたまつて居る白粉や、汚れ等も潛在乳化力と云ふ獨特の作用で全部吸ひ出し、芯からキレイに除つてしまうからです。

洗顏
自然石鹸しや、洗顏には強過ぎます。どんな細かい粉や、汚れ、白粉分解も微細に除れて、芯から綺麗さつぱりした美しいお顏になるのです。

榮養
今迄とはまるで違つた、皮膚の榮養素が含まれて居ます。ですからお肌はひになつた直後、お肌はまるで赤子の肌に當や艶やと輝く美しい肌になり、容貌分でもピックリなさる樣な魅力が發れます。

脂肪
皮膚、專門家が優ました肌の方の皮膚も、レートコールドの性質でこれから愛用する樣樣の作用で餘分な脂肪を除り去り、芯から美しい皮膚にします。

芯から清く淨らかに
垢ぬけする



畏し・若き學徒に對し優渥なる勅語を賜ふ

文相を宮中に召させられ

【東京二十二日發同盟】天長節下には二十二日午前全國學校學生生徒代表を御親閲あらせられたが同日午後一時十五分荒木文相を宮中に召させられ文部當局に於いて親閲賜はりたる有少年學徒に對する優渥なる勅語を賜はつた、荒木文相は恐懼拜受して同四十分退下したが特に若き學徒に對し勅語賜ひその向ふべき所を明示あらせられたことは最初の御事で聖恩の聖さに感激者一同いたく感激申し上げてゐる

勅語

國本ニ培ヒ國力ヲ養ヒ以テ國家隆昌ノ氣運ヲ永世ニ維持セムトスル任タル極メテ重ク道タル甚タ遠シ而シテ其ノ任實ニ繫リテ汝等青少年學徒ノ雙肩ニ在リ汝等其レ氣節ヲ尚ヒ廉恥ヲ重ンシ古今ノ史實ニ稽ヘ中外ノ事勢ニ鑒ミ其ノ思策ヲ精ニシ其ノ識見ヲ長シ執ル所中ヲ失ハス嚮フ所正ヲ謬ラス其ノ本分ヲ恪守シ文ヲ修メ武ヲ練リ質實剛健ノ氣風ヲ振勵シ以テ負荷ノ大任ヲ全クセムコトヲ期セヨ

聖旨を奉體して覺悟を新たに致す

荒木文相謹話

【東京二十二日發同盟】荒木文相謹話　天長節下におかせられましては常に皇國の學生生徒の上に深く御心を注がせられ殊に本日は學校御親閲の際特に勅語を賜はりたる有難き勅語を謹しんで拜受し奉り誠に感激の至りに堪へません、皇國の興隆は我が青少年に負ふ所大なりとの仰せ、我が文部當局は此の有難き聖意を奉體して時局を正視し邁進し一段と勅語を謹んで拜受し奉り誠に感激の至りに堪へません、皇國の興隆は我が青少年に負ふ所大なりとの仰せ、我が文部當局は此の有難き聖意を奉體して時局を正視し邁進し一段と本分を尽へ、慎ませ、

獨逸と國際學生派遣選手
來月十日鹿島立ち
在獨中にヘルシンキ見學の豫定

ドイツ派遣陸上選手及第八回國際學生陸上大會出場選手に就いては去る二十日の選考會に依つて各々選手五名と補欠一名が決定した事は既報の如くであるが、兩軍の團長としては在獨の有力な日本人に依頼するはずである

八月十日門司出帆豫定名丸
六月十四日ナポリ着、七月二十九、三十日ベルリンの國際競技會に出場、八月五日フッガルトの競技會に出場、八月二十一、二十五日第八回國際學生大會（ウイーン）に出場、八月二十七日ナポリ發、豫定名丸に乘船、九月二十七日神戸着の豫定、出來得れば在獨の間ヘルシンキへ見學に行く豫定である

屏東春季庭球

【屏東電話】屏東競技場庭球會主催の本年度春季庭球選抜個人選手權大會は廿一日午前十時より屏東公園コートに於て開會先づ二回戰列名大會長の挨拶に優勝カップの寄贈者渡川警部長の注意あつて出場選手加者A組五、B組十五、C組十二組に分て直ちに試合開始各組共優勝に値する試合を演じ結局A組は準決はせの林、沈組B組は李庚、李鍾組、C組は謝駒組が夫々優勝、カップ並に賞品の授與あつて競技場に午後四時終了した各組決勝戦の成績左の如し

A組　林春榮（沈勝）
B組　李庚、李鍾
C組　謝駒

双葉、安藝の決戰

（1）雲々と四股、2）横綱を前に緊めて相撲す（3）四股を仕切（4）安藝の四股及はず双葉の寄切つた瞬間

大相撲

十二日目勝負

増位山押出し篠ノ里
前頭上手投若葉
前頭四海波吊出し富士
前頭武ノ里突き落し八幡
前頭巴川突出し小戸ヶ岩
前頭加古川上手投松
前頭濱美川上手投渡
前頭九ヶ嶽寄り切り矢筈山
前頭宮田濱吊出し後
佐渡ヶ島寄切り篠ノ里
前頭白瀧寄切り三國
前頭二瀧川寄切り松浦
中入後
前頭高砂寄切し櫻
前頭巴潟寄切し若浪
前頭相模川寄切し若
前頭腰ノ里吊出し潟
前頭青葉山寄切り松ノ里
前頭神山寄切り小松山
出羽花突出し桂川
大邱山上手投照國
雨龍川（外掛）和歌
旭國（櫓）投佐賀ノ花
富士嶽寄切り大和
碧石上手捻綾
若雲双葉山寄切し岩
男女川（組打）安藝海

（打出し午三十五分）

【十一日目の勝負の松ノ里、照國の二番は松ノ里の勝（付記出場）

水入れの大相撲
羽黑、玉を寄切る
兩國久方振りの櫓投

玉ヶ嶽（櫓）投し天浪
肥州山（下手投）天龍
羽黑山寄切り玉ノ海
今場所切つての好組東西會心の賞金の一番、立上るや鷲に突合つて玉石を差せば羽黑左手を引いて右は前褌に頭を付けて喰下り玉の左を殺して一呼吸、玉潮引に寄つたが羽黑寄返して土俵中央に動かず水となり前場所同様引分かと思はれたが水入後羽黑無なく上手投を匝殺し玉の躍れを目任へグイグイ寄り立て寄切つて勝は期待に違はず兩力十滿身の力を絞して死闘數合、遂に今場所切つての大相撲であつた

名寄岩（寄切り）福甲
洋（吊出し）前田山
鹿島出羽（櫓）投笠置山
出羽海（下手投）鏡岩
双葉山（寄切り）安藝海
男女川（組打）安藝海

（打出し午三十五分）

【十一日目の勝負の松ノ里、照國の二番は松ノ里の勝（付記出場）

デ盃戰出場の比島代表決る

【マニラ本社特電電報】比島庭球協會は五日當地役員會を開き今年度デ杯戰出場比島選手の選定を行つた結果、アマド・サンチス、フェリシスモ・アンボンの二名を渡米せしめる事に決定本月十五日マニラ出帆のプレジデント・ピアース號に乘船渡米の途に就いた、途中支那、日本及びハワイ等に於て三三戰合が豫定されてゐる、サンムニエス、アンボンの兩選手は未だハイスクール在學中の若手プレーヤーで、渡米後の活躍が期待されてゐる

選抜圍碁リーグ戰（第十二局）

（第五譜）

本社主催

二段先番　矢野益義
二段互先　岡谷彰

潮州郡庭球大會

高雄州潮州郡春季各街庄對抗庭球大會は二十一日午前十時より郡役所コートに於て開催、前季覇者潮州街團より優勝旗の返納、大谷庭球部長の挨拶あつて試合開始、快晴に恵まれ絶好のコンディションに各團共火花を散らす熱戰を繰返し、團員の声援又物凄く樹蔭に手に汗を握らせたが結局内埔團が六連勝する潮州街團を破り久し振りに覇權を獲得し同四時二十八分盛會裡に終了した

四（謝内春）三（松永春）

大相撲星取表

東

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
武藏山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
玉ノ海	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
羽黑山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
前田山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿島洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
龍王山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
駒ノ里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安藝海	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大和錦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
兩國	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
和歌島	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
櫛甲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
冨士嶽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
綾瀬川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴ヶ嶽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大浪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
櫻岩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐賀花	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金湊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
旭川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大邱山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大潮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
出羽花	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
巴潟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
照國	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
輝國	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
若浪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
相模川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青葉山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
松ノ里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
櫻川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腰ノ里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

西

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
男女川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鏡岩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
名寄岩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
出羽海	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
玉乃島	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
笠置山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
綾昇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
磐石	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
綾若	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
餓鬼ノ里	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
旭川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
出羽花	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大潮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小島川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金湊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐賀花	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
櫻岩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
輝國	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
照國	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
巴潟	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
櫻神山	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

極意皆傳（二）
享保仇討
譽の貞婦
一龍齊貞鏡演　丸岡三樹三繪

「イヤ悴殿」と言ふと、お前が口出しをする処ではない。三平を聽當するも武門の義理、一刀又六へ割して此儀には接渡けぬ」

「どうあつても御聽井は下さりませぬか」

「くどい、くどく云ひをつては病に障る。早う出て舞れ」

「今人はのまま夜具を引ッ被つて寝てしまひました。殺方なく涙に堪へきれて三平は病室を出る。悴殿も強いて出て参りまして

「三平や、あるこを出したことを無理にお詫をすると病室に逆らふその内丞が機を見てお詫をしてあげるから、決して先生を怨んだりなりませんし」

「怒むどころではございません、醫師者が不平から起りましたこと何分どうか御新親様から宜しくお執り成しを願ひまする」

と、涙を流して三平が頼みをる折柄、今人が麁に能を呼びますから御新造が直ぐに上つて行つて

「悴方、何か御用でございますか」

「ウム、三平は帰つたか」

「まだでございます」

「左様か、さらば是をやつてくれ」

と、取出しましたは紫縮緬の帛に包んだ二品。

「ハイ、左様なれば此品を三平に渡はしまするか」

「やつてくれ」

「畏まりました」

悴殿は右の品を持つて再び出て参り

「三平や、何か知らんが先生からこの品をお前にやれと仰しやつた」

「先生より下され物……有難く頂戴を致します」

と三平は押戴き、帛を解けば這は如何に、中より出でし二品は是ぞ神傳流極意の秘書。

「これはこれ極意皆傳の一卷、驚いた」と三平は驚しとも思ひ給はず、それとなくこの一卷を下されたが、あな有難や、忝なや……」

と再三三四押戴き、嬉し涙を流しつつ、三平は病室に向つて兩手を合して拝をする。側に見てゐる悴殿が

「先生が御前に極意の一卷を譲つたものと見てます。是を見るにつけても、心からして聽當をした訳ではありませぬ、只又六へ割して言訳なさに表面だけの聽當、必ず先生を怨んでは なりません」

「勿論だ し、怨むどころではございません。有難くこの一卷は三平が納めた上は女怨より先生へ仰しやつて下さい」

「それはもう、万事丞が承知して参ります」

「就ては御新造様、此度殿様御国入りに付、悴者お供をいたします るため一ヶ年程信州松代へ参りまする。それ故その間はお伺ひ申す訳には参りません、どうかそれまでは先生の処見てしまひ申しまする。又御新造様、坊つちゃん方も御大切に遊ばして下さいますやう……ではお暇をいたします」

と、涙で宇野三平、赤阪藩池眞田の屋敷へと別れましたが、これが恩師と の永の別れにならうとは神ならぬ身の知る由もございませんでした。

ヨクキク殺毛剤

男女とも、ひげ。ね
女毛、うで毛。すね毛。其他身體中のムダ毛をスベて美なく殺ぢに殺毛

男女毛深い方

はなぜ殺毛剤をあてねばならないか。一度、ディヌのようでは人中へ出ても殺毛をかくから早くキレイなディヌの殺毛剤。（ガキ中は殺毛剤）

東京市日本橋区本町四丁目
進文館薬品部

笑顔で
主婦の健康は一家を明るくする！一家の明朗は健全な國家の源です
産前産後に！婦人病に！
良人婦薬
喜谷實母散
東京京橋　喜谷市郎右衛門商店
効能　月経不順　つわり　産後の出血過多　産後の早期歩行　産後の疲労　産後の食欲不振　産後の便秘　産後の貧血　産後の神経衰弱　産後の子宮病　産後のヒステリー
定價　二十錢　五十錢　一圓　二圓　三圓五十錢

CHIYODA POMADE
ポマード
日本最高基準品
文化日本のよきシンボル、手を汚さず清純なポマードを梅に流してしかも清明な香り高き整髮美ポマードチヨダ獨自の誇り
純粹植物質
TRADE MARK
店商岸山田代千　社會式株　京東

しらが赤毛染　るり羽
赤毛白毛が交つては美人も台なしです。るり羽でどうぞ！
るり羽は染上りがスッキリと自然色でその まゝであり、染め方も極めて簡單で、染上げ後の美しさも早く理想的染毛料です。
（全國薬店にあり）
25錢　35錢

武田發賣品
「どうしたんだいカン〜〜頭をたゝいて」
「蕁麻に頭痛がするんでえ」
「たゝいてなほるんなら、ほれこの金槌の方がよく効くぞ」
主効分はボンビリンとアミノピリン・バルビタールの分子結合体。効き目が速く、寄が用のたいのが特長
頭痛　歯痛　神經痛に
ソリボン

昭和の常識
命に就界を渡るわち防切や社の施設にはさしるひと通ること通常完全は於に注意する事が肝要
仁丹の煉齒磨
（縮大圖）
煉の王座　効果も香味も一番米、獨品に優る完全チューブ入
特に仁丹の煉齒磨は一回の使用量、齒ブラシの上に2糎を押出せば充分です。
それ程、仁丹の煉齒磨は強力有効ですから幾ら多く使ふことがお好きな方でも3糎以上は無駄です！

仁丹煉齒磨
消費抑制の國策的見地からも——
他の半量で濟む
此の特許齒磨を
馥郁として床しき香味の感觸、齒と齒齦を美しく強め、口臭を去り、ムシ齒や齒槽膿漏を防ぎ
健康をグンと增強する
化學的完全効果の特許半煉こそ責任を以てお勸めできる
科學日本の代表的齒磨です
齒磨　強く白き齒　煉半　仁丹の煉齒磨
JINTAN'S SEMI-TOOTH PASTE
特許
（縮大圖）